表紙, 目次, 抄録, 漫録, 通信, 雑報

メタデータ	言語: jpn 出版者: 公開日: 2017-10-04 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: メールアドレス: 所属:
URL	http://hdl.handle.net/2297/38389

明治四十四年十一月二十五日發行

十全會雜誌

第十七號

全澤醫學專門學校十全會

十全會雜誌第七十號目次

○原著及實驗

●水上防疫調査。

松王 數男

○抄 錄

(第三回日本醫學會演說抄錄)

●耳根治手術下耳内手術。

濱地 藤太郎

●水中細菌ノ早期計算法。

北 豐吉

●埋葬地ノ衛生學的試驗。

全 上

●舊式帆走艦ト新式瀛走艦ノ艦内空氣

炭酸瓦斯試驗

鈴木 寛之助

●最簡單確實ナル縫合糸消毒法

全 上

●野戰外科ノ消毒法

村 田 醇

●長管骨皮下骨折治驗

吉田 幡 誠

○漫 錄

●英國に於ける醫育

隈 川 基

●獨逸の醫者と日本の醫者

不曲書屋主人

○通 信

●鈴木寛之助氏通信。●宮川蕭氏通信。●鈴木正孝氏通信。●鈴木伊作氏通信。●關承五氏通信。●那谷與一氏通信。●矢吹清氏通信。●東京呆蛙生通信。●林篤氏歐行通信。●辻本辰之助氏獨逸通信。●韓清泉氏支那通信。

○校內雜報

●解剖大祭。●小立野俱樂部成る。●新特別會員を迎ふ。●卒業式記事。●十全會茶話會。●深美貞之助氏送別會。

○叙任及辞令

●金澤醫學專門學校。●石川縣。

○人 事

●高柳六郎氏。●鈴木寛之助氏。●坂井茂氏。●相馬甲五郎氏。●中本和三郎氏。●上野善造氏。●吉川六郎氏。●高田信弘氏。

○會 告

●四十三年度十全會費收支決算報告。
●校外特別會員會費領收證書。

爲メニ世間ニ注意ヲ促スヲ得バ、國家防疫上ノ慶幸ト言フベク、翻テハ貴重ナル本誌ノ一部ヲ汚瀆セルノ罪幸ニ免ルヲ得ベケン乎

* * * * *

孤 録

●耳根治手術ト耳内手術ニ就テ

(三十七年卒業。大阪市開業) 濱地藤太郎
(第三回日本醫學會耳鼻咽喉科部)

紀元一八八九年キユスタが初メテ耳根治手術ヲ行ヒテヨリ、爰ニ二十有餘年、幾多ノ生靈ハ實ニ之レニ依テ救ハレタルナリ、次デスタツケ(一八九七年)其他ノ中興アリテ、次テ該手術ハ殆ンド完域ニ入レリト云フベシ爾來外皮切法等ニ二三ノ考案ナキニアラズ、即チH字形瓣N字形瓣等之レナリ

耳内手術ニ就テハ既ニ明治三十九年第二回日本醫學會耳鼻咽喉分科會ニ於テ柏原學士ノ報告アリ、次テ昨四十二年ニハ大日本耳鼻咽喉科學會ニ於テ京都臨牀ヨリ横山氏ハ再ビ『耳内手術ニ就テ』ナル題下ニ之レヲ論述セル處アリ、兩者相應ジテ其詳細ヲ盡セルヲ以テ、今爰ニ之レヲ述ベントハ恰モ此足ノ感ナシトセズト雖モ、余ハ耳根治手術ト共ニ、主トシテ之レヲ臨牀的方面ヨリシ、余ガ過去三ヶ年間ニ於ケル實驗例ニ就キ、其成績ヲ發表シテ以テ、同臭諸士ノ垂教ヲ仰ガントス

(抄録)

耳根治手術(耳全鑿開術)及ビ耳内手術ノ適應症ハ其ノ繁ヲ顧ミテ爰ニ之レヲ省略スト雖モ、其ノ耳内手術ノ適示ニヨレバ、根治手術ノ範圍ハ著シク狭小セラレタルヲ見ル、今之レヲ余ノ實驗例ニ徴シ其如何ナル症ガ根治手術ニ適シ、或ハ耳内手術ニ適スルカヲ示サント欲ス

耳全鑿開術(根治手術)ヲ施シタルモノ十八例中

一、乳嚙突起炎ニシテ、外膿瘍ヲ形成セルモノ一三

一、急性化膿性中耳炎ノ經過中ニ來リシモノ七

一、慢性化膿性中耳炎ノ經過中ニ來リシモノ六

一、化膿性乳嚙突起炎ニシテ、外膿瘍ノ形成ナキモノ五例中

一、急性化膿性中耳炎ノ經過中ニ來リシモノ二

一、慢性化膿性中耳炎ノ經過中ニ來リシモノ三

之レヲ耳性頭蓋内合併症ノ有無ニ分テバ

一、頭蓋内合併症ヲ有スルモノ五

一、硬腦膜外膿瘍形成三

一、腦膿瘍(頭顱葉)一

一、橫竇周圍炎一

一、頭蓋内合併症ナキモノ一三

之レヲ乳嚙突起ノ外方骨穿孔ノ有無ニ分テバ

一、乳嚙突起ノ外面ニ瘻孔ヲ有セルモノ一〇

一、穿孔ナキモノ八

右ノ内急性中耳炎ノ經過中ニ來リシ、急性乳嚙突起炎ニシテ、耳内手術ヲ施コシ治癒ヲ得ズ、再ビ根治手術ヲ施セシモノ一例アリ

耳内手術ヲ施シタルモノ二十例中

一、單純ノ鼓室上窩化膿ニシテ、弛緩膜部ニ瘻孔ヲ有シ、鼓膜穿孔ナキモノ七

二、頑固ナル慢性化膿性中耳炎ニシテ、鼓膜缺損ニ兼ネテ尙ホ炎症ノ鼓

室上窩ニ限局シ、其部ニ瘻孔ヲ有スルモノニ

三、其部ニ瘻孔ヲ有セズシテ、鼓室内ニ向フテ排膿スルモノニ

四、「マルゴ」又ハ小聽管ノ「カリエス」及ビ鼓室上窩化膿アリテ、其部ニ瘻孔アルモノ、鼓膜ニ穿孔ナキモノニ

五、同上ノ場合ニシテ、鼓膜穿孔アルモノニ

六、同上ノ症例ニテ、尙ホ慢性ノ乳嘴突起炎ヲ合併セルモノニ

七、急性化膿性中耳炎ノ經過中、急性化膿性乳嘴突起炎ヲ繼發セルモノニ

八、「アツチック」及ビ「アントルム」及ビ乳嘴蜂窠一部ノ「コレステアト

ーム」

由是觀之慢性或ハ急性化膿性中耳炎ニシテ、耳性頭蓋内合併症ヲ缺キ、乳嘴突起ニ膿瘍形成其他ノ著明ナル病變ナキ限リハ、在來ノ耳根治手術ノ適應症トシテ示サレタルモノモ、尙ホ耳内手術ニ依テ頗ル短時日ニ、而モ天賦ノ美ヲ傷フコトナク治癒スルヲ得ルナリ、況ンヤ將來ニ危險ヲ齎ラスノ虞アルニモ拘ラズ、極メテ耳内手術ニ應ジ易キ鼓室上窩化膿等ニ於テオヤ殊ニ急性乳嘴突起炎ニ耳内手術ヲ行フコトハ、其根本理ニ於テツイルド乃至シユアルツニ一致スルニアラズヤ、又假ハ耳内手術其效ヲ奏セザル場合ト雖ドモ、根治手術ニ移ルニ必ズシモ機ヲ失シタリト云フベカラズ、寧ロ耳内手術ノ利ハ其等ノ場合ニ於ケル損害ヲ償フテ尙餘リアルモノト云フベシ

尠ナルハ耳内法ヲ多ク用ヒタルニ由ルモノナリ

手術

根治手術 ハ耳科治療上最モ緊要ナルモノニ屬シ、不治ノ難症ト目サレシモノモ之レニ依テ治シ、危險ナル耳性頭蓋内合併症モ爲メニ防遏セラル該手術ニ就テ余ノ云ハント欲スル所ノモノハ、若シ乳嘴蜂窠鑿開創ニ皮膚

ヲ移植スルノ要アル場合ハ、其外皮切法ニN字瓣ヲ作爲スルトハ其被皮機轉ト大ナル關係ヲ有スルヲ以テ、其被皮機轉ガ後ノ聽覺ニ及ボスベキ影響

ニ顧慮スルヲ要セザル場合ハ、此切法ヲ最良ノモノト信ズ

耳内手術ニ就テハ茲ニモ亦局所麻醉ヲ應用スルコト、及ビ外聽道ニ形成スル皮瓣等ニ就テ一言セントス

耳内手術ニ局所麻醉ヲ應用スルコトハ既ニホリツツセル(一九〇八年)モ之

レヲ記載セリ、然レドモ未ダ之レヲ一般ノ耳内手術ニ應用スルニ至ラズ、

單ニ小聽骨ノ摘出、又ハ弛緩膜部ニ大穿孔ヲ有セザル症ノ「アツチックト

ミ」等ニハ稍々效果ヲ奏スレドモ、小兒及ビ弛緩膜部ノ大瘻孔ヲ有スルモ

ノ等ニハ十分ナル效果ヲ齎ラサズ須ラク後ノ研究ニ俟タザルベカラズ、而

シテ余ハ全身麻醉ヲ應用スルノ際モ、豫メ外聽道後壁皮下ニ稀薄ナル古加

乙「アドレナリン」溶液ヲ注射スルコトハ止血ノ目的ニ於テ大ニ施術ニ便ナ

リ、唯ガ注射ノ爲メ外聽道壁ノ膨隆ヲ來シ、聽道狹小ナルモ、這ハ五六

分時間ノ后ニハ殆ンド常態ニ復スルモノナリ

耳内ヨリスル「アツチック、アントロトミー」ニ際シ、其外聽道前上及ビ上後

壁ニ鼓膜輪ヨリ外聽道軟骨部ニ至ルマテ縱徑切開ヲ施シ、二乃至三個ノ皮

瓣ヲ形成シ骨膜ト共ニ之レヲ剝離シテ外方ニ翻轉セシメ耳鏡下ニ之レヲ保

持スルトキハ、外聽道前壁ヨリ後壁ニ至ル約半圓筒ノ骨壁ハ悉ク之ヲ落出

シ得テ、骨鑿除チシテ甚ダシク容易ナラシメ、且出血尠キヲ以テ、從テ其

手術ニ困難ヲ感セズ、皮瓣ハ再び反轉セシメテ治療セシム

此法ハ嘗テ柏原氏が報告セル處ナルモ、最近者(一九〇九年)ノガストマン

氏モ此法ヲ施シ、大ニ好成績ヲ得タリト報ゼリ
耳内のニ乳嘴蜂巢ヲ鑿開スルコトハ每常必ズシモ可能ノコトニアラザレド
モ、余ハ四症例ノ實驗ヲ有ス、其方法等ハ症例ト共ニ爰ニ之ヲ省略ス、
後療法豫後等亦然リ

●水中細菌早期計算ニ就テ

(三十年卒業。大阪市技師) ドクトル

(第三回日本醫學會衛生部)

北 豐 吉
深澤治三郎

從來水中細菌定數的試驗ニ應用セララル、膠質平板培養ニテハ、四日以上ヲ
要スルノ缺點アリ、故ニ此ノ時日ヲ短縮センガタメ、寒天平板ノ血溫培養
ヲ行ヒシガ、ソノ一日間ニ發生スル聚落數ハ膠質平板二十度三日間培養ニ
於ケル聚落數ノ約六〇・〇%ナリ、故ニ一定種ノ水ニツキ此係數ヲ確知スル
トキハ、寒天平板ノ血溫培養ヲ應用シ得、之ニ依リテ從來膠質培養ニテ三
乃至四日ヲ要セシ水中細菌計算モ、普通寒天培養基若クハハイデン氏「ネ
ーヤストフ」寒天培養基ヲ以テ能ク一日ニシテ、之ヲ爲スコトヲ得ベシ

●埋葬地ノ衛生學的試驗

(全上)

ドクトル

北 豐 吉

屍體處置法トシテハ衛生上火葬ヲ最モ善長ナルモノトス、埋葬法ニ至リテ
ハ之ヲ適當ナル土地ニ於テ完全ナル條件ノ下ニ行フ時ニ限リ其弊少キモ
然ラザレバ往々危害ヲ來スコトナキニアラザルベシ

本邦ニアリテハ幸ニ諸外國ニ比シ、火葬ノ行ハル、コト多シト雖モ、尙埋
葬モ尠カラズ、殊ニ都會ニ於テ多シトス、從テ田舎ニ於ケルヨリモ衛生上
ノ影響一層大ナルガ故ニ、等閑ニ附スベカラズ之レニ關スル「リテラツ

(抄録)

ル」ハ歐洲ノ文獻ニ二三散見シ、本邦ニテハ坪井博士ガ東京市谷中墓地内
井水ノ試驗ヲセラレタル等ノ他、余未ダ多クヲ聞カザル所ナリ、而シテ是
等ノ試驗成績ハ原著ニ譲リ、爰ニハ之ヲ省略スト雖モ、此種ノ調査比較的
少ク、殊ニ氣候地質風俗ノ異リタル本邦ニ於ケル試驗モ亦必要ナラント信
ジ、余ハ恰モ當大阪巖崎墓地移轉ニ際シ、埋葬屍體、墓地及ビ其井水ニ
就キ聊カ調査シタリ

右岩崎墓地ハ本市西南部ニアリテ、始メハ市外田野中ニ孤立セシモ、漸次
市ガ其周圍ニ發展スルニ從ツテ遂ニ人家ヲ以テ圍繞セララル、ニ至リ、衛生
上ノ必要ニ迫ラレ、去ル明治四十一年冬ヨリ他ニ移轉セラレタルモノナリ
試驗方針及方法

余ハ本試驗ニ於テ先ヅ土質及地下水ト屍體分解ノ關係ヲ探研シ、併セテ屍
體分解ニ伴フ周圍土地ノ汚染如何ヲ檢シ、終リニ諸處ノ井水ニ影響ナキカ
ヲ調査セントス、乃チ前述墓地移轉ノタメ屍體發掘ニ當リ左ノ諸項ヲ調査
セリ

一、埋葬ニ關スル帳簿ニ就テノ調査

發掘サル、屍體ノ何年前ニ埋葬セラレタルガ、及ビ其ノ年齢(大人小兒ヲ
區別スル爲メ)如何等ヲ調査ス

二、發掘時肉眼の觀察

屍體發掘ノ際土地ノ性状、屍體及棺材朽敗ノ狀態、棺底迄ノ深サ、水ノ涌
出アリヤ(地下水)連接地ノ狀況埋葬ノ有無道路ノ有無、等ヲ調査ス

三、土質ノ採取

土質ノ採取ハ棺側及棺底ニ於テシ、口徑約七仙迷深サ約八仙迷ノ底ヲ有ス
ル「ブリキ」罐ヲ地中ニ廻轉シツ、壓入シ、其中ニ入りタル土質ヲ其儘「ス
コップ」ニテ支ヘテ採取シタリ、之ニヨリテ自然狀態ニ於ケル土地ノ容積
ト重量トノ關係ヲ知り、次テ一定重量中ノ細菌若クハ化學的成分々量ヲ一
定容積土中ノモノニ換算シ得セシメタリ

七・五―四八・五―五二・五％ノ三例アリタリ。而モ分解ニ甚シキ遲速アレバ斯ク單純ニ論ズル能ハザルベシ、又氣孔容積ト受水量ハ一致スルモノニアラズシテ、余ハ寧ロ本試驗ニ於テ陶汰成分量ト、受水量ト常ニ一致スルヲ認メ、地下水ト共ニ屍體分解ノ遲速ニ對シ三要件ナルヲ信セントス
 井水試驗ニアリテハ埋葬地内ノモノニ異例ニ多量ノ硝酸、亞硝酸、遊離「アンモニア」蛋白質「アンモニア」及ヒ比較的多量ノ有機質ヲ含有シ、不潔ナル河水モ之ニ及バザルヲ見タリ、即チ

本市河津川 水ノ不潔ナル 後川合流	痕跡	痕跡	0.13	0.20	0.42	—
墓地内井水	甚ダ多量	甚ダ多量	10.000	3.800	14.000	1.736
	硝酸	亞硝酸	遊離蛋白質	安母尼亞總量	安母尼亞總量	有機質

如斯ハ從來河川ニモ井水ニモ殆ンド見ザル所ニシテ、確カニ埋葬屍體分解產物ニヨリ汚染セラレタルモノト信ズ、其他墓地ヲ去ルコト二十間、三十八間、五十間、六十五間等ノモノニアリテハ漸次諸成分ノ減少スルニヨリテ見レバ、亦其近距離ニ於ケルモノ、汚染セルヲ窺ヒ得ベシ

坪井博士、Hoffmann, Uffmann, Fleck 諸氏ノ報告ニヨレバ、墓地内ノ井水ニ於テ異狀ヲ認メザリシト云フモ、本試驗ニヨレバ地質及ヒ地下水ノ如何ニヨリ墓地及ヒ其ノ附近ノ井水ノ甚ダシク汚染セラレ、コトヲ證明シ得ベシ、余ハ以上ノ成績ニヨリ墓地ノ新設ニ際シテハ必ズ豫メ其適否ヲ學術的ニ精査スルノ緊要ナルコトヲ感ズルト同時ニ、已ニ設置セラレタルモ衛生學的ニ精査シ不長ノ影響ヲ認ムルトキハ其移轉ノ斷行セラレンコトヲ切望ス

●舊式帆走艦ト新式瀛走艦ノ遠洋航海
 中ニ於ケル艦内空氣炭酸瓦斯定量試驗成績ノ比較

(二十九年卒業。海軍軍醫中監)
 (第三四日本醫學會軍陣醫學科)

鈴木寛之助

海上空氣ノ極メテ清淨ナルニ反シ、艦内空氣ノ極メテ不潔ナルコト人ノ想像ノ及バザル所ナリ惟フニ艦内ニ在リテハ、狭隘ノ氣積中ニ多數ノ乘員居住シ、其動作ノ繁雜ナルコト普通船舶ノ比ニ非ズ、從テ塵埃極メテ多ク湿度ニ富ミ、臭氣ヲ放チ、多量ノ CO₂ヲ含有シ所謂空氣ノ動物化 (animalisation) スルノ程度大ナリトス

陸上家屋ニ比シ艦船ノ通氣不良ナルノ主因ハ、(1) 各人ノ占有スル氣積 (Turkibus) 極メテ小ナルコト、(2) 自然換氣ノ道途タルスキ出入口、扉口、舷窗等ノ面積甚ダ小ナルコト、(3) 戰闘中及荒天ノ航海中ニ在リテハ此等ノ自然的換氣ノ道途殆ンド全ク杜絶セラレ、コト、(4) 艦船ノ四壁ハ其材料悉ク不透性ニシテ、空氣ノ通過性 (Durchlässigkeit für Luft) 全ク缺如シ、從テ Poren-Ventilationノ全然行ハレザルコト、(5) 艦船ノ戸扉、窓蓋、舷窗等ハ、之レヲ閉鎖スレバ Wasserdichtトナルト同時ニ、殆ド全ク Luftdichtナリ、陸上家屋ノ如ク窓戸ノ間隙ヨリスル外氣トノ交通全ク行ハレザルコト等ナリ

然レドモ近來造船術ノ進歩ニ伴ヒ、戰術的方面ニ於ケル造船ノ進歩ト共ニ、艦内通氣裝置モ亦著シク改良ノ蹟ヲ見ルニ至レリ、今茲ニ余ガ自ラ試驗セシ舊式帆走艦ト新式汽走艦トノ通氣狀態ヲ比較シテ論述スルハ、學術上有益ニシテ、又頗ル趣味アル業ナリト信ズ、余ハ明治三十二年軍艦比叡ニ乗組ミ、帆走モテ北米西岸及布哇ヲ巡航シタル際 Pettenlofer 式ニ依リ、艦内空氣ノ CO₂ 定量試驗ヲ行ヒ、其成績ヲ報告スル所アリシガ、爾後十年ヲ

開ミシタル昨四十二年軍艦宗谷ニ軍醫長ノ職ヲ奉ジ、汽走モテニ北米西岸及布哇ヲ巡航スルノ機運ニ際會スルニ迄ビ、斯ノ兩種航海ニ於ケルCO₂定量試験ノ成績ヲ比較センハ、學術上頗ル趣味アルコト、思ヒ立チ、即チ(Lange-Zeelenforf'scher Apparat)ヲ用ヒテ試験ヲ行ヒタリ、固トヨリPettenkofler式ハ精ニシテ、Lange式ハ粗(Approximativ)ナリ故ニ此兩種成績ノ比較ヲ以テ學術上嚴正(authentisch)ナリトハ思惟セザレドモ、而モ數字の極微ノ差ヲ措テ論セザレバ、實際ノ衛生學上ニハ尙黑白ヲ列スルノ資料タリ得ベキモノト信ズ

軍艦比叡ハ明治十年英國ニ於テ製造シタル帶甲「コルヴェット」式二千二百八十四噸ノ木艦ニシテ三等海防艦(Die dritte Klasse Krusen-Verteidigungsschiff)ニ屬シ、軍艦宗谷ハ日露開戦ノ劈頭、仁川ニ於テ我瓜生艦隊ノ爲メニ擊沈セラレ、後我海軍ニ於テ浮揚セシメタル舊露艦「Aryang」ニシテ千九百八十九年米國フイラテルフイア、「クラムツ」會社ノ製造ニ係ハル六千五百噸ノ鐵艦ニシテ、二等巡洋艦(Die zweite Klasse, nicht Panzer) Krutzen)ニ屬ス、兩艦通氣裝置ノ異ナル點ヲ擧グレンバ、比叡ハ自然換氣ヲ基礎トシ、宗谷ハ人工換氣ヲ主トシ、電氣扇風機ヲ用ヒ自然換氣ヲ副トス

結論

一、比叡ニ於ケル十八回ノ試験中一⁽⁹⁾以上ナリシコト十五回(約八九%)、宗谷ニ於テハ八十七回ノ試験中一⁽⁹⁾以上ナリシコト四十四回(約五二%)ナリ即甲ニ於テハ試験回数ノ⁽⁵⁾/₆ハ制限量ヲ超過シ、乙ニ在リテハ⁽¹⁾/₂ニ過ギズ

二、平均一人ノ占領スル氣積ハ兩艦共ニ伯仲ノ間ニ在リテ、寧ロ宗谷ノ方反テ小ナル部多シ、然ルニCO₂定量分析試験ノ成績ヲ比較スルニ比叡ニ在リテハCO₂甚ダ多量(最高六・七五%)ニシテ、通氣不良ノ狀態ヲ示スニ反シ、宗谷ニ在リテハCO₂甚ダ少ク、(最高三%)通氣佳良ノ狀態ヲ示セリ

三、兩艦ノ通氣狀態ニ斯ク著明ノ差異ヲ呈シタルハ主トシテ左項ニ因由スルモノト認ム

一、比叡ハ自然換氣ヲ主トシ宗谷ハ人工換氣ヲ主トシ、之ニ自然換氣ヲ補助トス

二、比叡ハ帆走ナルガ故ニ、速力小ニシテ不定ナレドモ、宗谷ハ汽走ナルガ故ニ、速力大ニシテ一定ス速力大ナレバ艦外ノ風力強大トナリ、自然換氣量從テ大ナリ

三、帆走ニアリテハ瀛罐ニ點火セザルヲ以テ艦内ノ溫源(Warmquelle)少ク、從テ自然換氣量小ナレドモ、汽走ニアリテハ焚火シツ、アル瀛罐ハ、艦内ノ一大溫源トナリ、自然換氣量增加ス、是レ交換ノ速度并ニ其量ハ艦ノ内外ニ於ケル溫度ノ差(Temperaturdifferenz) (T-T₀)關係スルモノナレバナリ

$$\text{交換速度ノ公式 } V = \sqrt{\frac{2gh(T-T_0)}{273+t}}$$

$$\frac{1}{273} = \text{瓦斯膨脹係數}$$

$$\text{交換量ノ公式 } \sqrt{\frac{W(T+at)}{0.306(T-t)}}$$

四、帆走ニ在リテハ速力小ニシテ、且不定ナルガ爲メ、其航海日數長ク(一航海四十日以上ニ互ルコト屢々ナリ)汽走ニ在リテハ速力大ニシテ、且一定セル爲メ其航海日數短シ(三週目以下ヲ常トス)、即航海中ハ舷窓ヲ密閉シ、其他昇降口、天窗等閉鎖セラレ、自然換氣ヲ營爲スルノ道途阻絶セラレ、コト長キニ從ヒ、通氣益不良トナルノ理ナリ

五、軍艦内ニテハ晝間ト雖ドモ、人工的採光ヲ要スルコト多シ、比叡ノ人工的採光ハ燭火ニシテ、宗谷ハ電燈ナリ、舊式艦ノCO₂多キ一因タリ

六、以上ノ結果ニ徴スルニ凡ソ軍艦ノ通氣ハ自然換氣(Die natürliche Ventilation)ノミニ倚ル舊式艦ノ帆走航海ニ比スルニ、人工換氣(Die künst-

農商務省檢定ノ絲力計ヲ用ヒテ計測シタル成績左ノ如シ
 試驗ニ供シタル絹絲ノ想定抗斷力及陸軍藥局方所方ノモノトノ比較

番號	陸軍藥局方		海軍內規供試品		備考
	重量	抗斷力	重量	抗斷力	
No. 一	1.00	5.00	1.00	1.50	陸軍藥局方ノ一號
No. 二	1.00	5.00	1.00	1.50	陸軍藥局方ノ二號
No. 三	1.00	5.00	1.00	1.50	陸軍藥局方ノ三號
No. 四	1.00	5.00	1.00	1.50	陸軍藥局方ノ四號
No. 五	1.00	5.00	1.00	1.50	陸軍藥局方ノ五號
No. 六	1.00	5.00	1.00	1.50	陸軍藥局方ノ六號
No. 七	1.00	5.00	1.00	1.50	陸軍藥局方ノ七號

沃丁消毒絲抗斷力試驗成績

原絲	沃丁中ニ一分浸漬		沃丁酒精中ニ三分浸漬		沃丁酒精中ニ一分浸漬		沃丁酒精中ニ二分浸漬		沃丁酒精中ニ三分浸漬	
	收縮力	抗斷力	收縮力	抗斷力	收縮力	抗斷力	收縮力	抗斷力	收縮力	抗斷力
一	0.11	5.1	0.11	5.0	0.11	5.0	0.11	5.0	0.11	5.0
二	0.11	5.1	0.11	5.0	0.11	5.0	0.11	5.0	0.11	5.0
三	0.11	5.1	0.11	5.0	0.11	5.0	0.11	5.0	0.11	5.0
四	0.11	5.1	0.11	5.0	0.11	5.0	0.11	5.0	0.11	5.0
五	0.11	5.1	0.11	5.0	0.11	5.0	0.11	5.0	0.11	5.0
六	0.11	5.1	0.11	5.0	0.11	5.0	0.11	5.0	0.11	5.0

他ノ方法ヲ以テシタル絹絲ノ抗斷力試驗成績

(抄錄)

原絲	消毒		一時間蒸氣		一時間乾熱		二十四時間5%石炭酸中ニ浸シタルモノ	
	收縮度	抗斷力	收縮度	抗斷力	收縮度	抗斷力	收縮度	抗斷力
一	0.11	5.1	0.11	5.0	0.11	5.0	0.11	5.0
二	0.11	5.1	0.11	5.0	0.11	5.0	0.11	5.0
三	0.11	5.1	0.11	5.0	0.11	5.0	0.11	5.0
四	0.11	5.1	0.11	5.0	0.11	5.0	0.11	5.0
五	0.11	5.1	0.11	5.0	0.11	5.0	0.11	5.0
六	0.11	5.1	0.11	5.0	0.11	5.0	0.11	5.0

三 臨牀的實驗

挫創、裂創、爆創等ニ於テ骨膜縫合、筋皮膚縫合、及ビ血管結紮ニ用ヒタルガ何レモ第一期癒合ヲ營ミ、針孔化膿ヲ招來シタルモノ一モナシ、又組織ニ對シテ、何等刺戟的發炎的徵候ヲ呈セズ、沃丁絲ヲ「マウス」ノ皮下ニ挿入シ、長時日ヲ經テ皮膚ヲ切開シテ檢スルニ、沃度ハ己ニ吸收セラレテ、全然白色トナリ周圍ニ發炎的刺戟、狀態ヲ認メズ

結 論

- 一、日本藥局方沃丁中ニ縫合絲ヲ浸スコト數秒ノ後、直ニ過剩ノ沃丁ヲ除クモ一度ビ沃丁ニテ黃染スレバ、已ニ消毒確實ナリ
- 二、沃丁ノ絕對的殺菌時間ハ化膿菌ニ對シテハ三十秒、脾脫疽芽胞ニ對シテハ、一時間半ナリトス脾脫疽芽胞ニ對スル試驗ハ單ニ培養基上ノ所見ニアラズ、反復動物試驗ヲ行ヒテ得タル確實ナル成績ナリ
- 三、然レドモ實用上ニハ沃丁ニ染色シタルマ、化學的ニ沃丁ヲ奪取セズシテ、使用スルヲ以テ、單ニ一分時間沃丁中ニ浸スヲ以テ足レリトス、即チ爾後吸收セラレタル沃丁ニ依リテ、持續的ニ殺菌作用ヲ及ボスモノト見ルベシ
- 四、沃丁消毒ノ確實迅速ナルハ「アルコホル」ノ脂肪溶解性ヲ利用シテ、速ニ絹絲ノ纖維内ニ浸入シ此ノ處ニ沃丁ヲ伴ヒテ纖維ヲ黃染シ、「アルコホル」ノ氣散シタル後モ沃丁ヲ殘留スルニ因ル
- 五、沃丁消毒絲ノ抗斷力ハ二乃至三分間浸漬ノモノハ、抗斷力ノ減殺最少キ蒸氣消毒ニ亞ギ、途ニ久時石炭酸水ニ浸漬シタルモノ、右ニ出ヅ
- 六、沃丁消毒ニ於ケル抗斷力ノ減殺ハ、浸漬時間ノ長短ヨリハ、沃丁含量ノ多少ニ比例ス
- 七、本法ハ極メテ簡便ナルヲ以テ、陸戰隊、驅逐艦水雷艇、戰時特設ノ綿帶所等軍陣外科ニ於テ、實用ニ供スベキ至傾ノ法タリ、又開業醫家ニモ推獎ノ價值アルベシ
- 八、手術室内ニ於テ行フ成規的手術 Die ortenliche Operationニ於テモ、必要ニ臨ミ應用シテ便ナリ、殊ニ深部ニ永久殘留スルモノニハ一時間半以上浸漬スレバ消毒確實ナルヲ以テ安全ナリトス

野戰外科ノ消毒法ニ就テ

(二十四年卒業。陸軍三等軍醫正) 村 田 醇

野戰外科ノ消毒法ハ難シ、就中手指ノ消毒ヲ然リトス、幸ニシテ戰傷者ノ大多數ハ單ニ創面ヲ露出シ、防腐綿帶ヲ施セバ足ル故ニ、豫メ用意セル滅菌綿紗——脫脂綿ノ一片ヲ一定ノ注意ノ下ニ貼布シ、護謄絆創膏ヲ以テ固定スレバ、特ニ手指ノ消毒ヲ要セズ、然レドモ少數トバ云ハ、直ニ手術ヲ要スルモノアリ、此時ニ方リ、手指ノ消毒ハ如何ニセバ可ナルヤ、蓋シ野戰外科ニ於ケル手指ノ消毒法ハ方法單簡ナラザルベカラズ

不潔ニシテ荒蕪セル手指ヲ短時間ニ消毒セザルベカラズ、消毒ニ要スル材料ハ綿帶ニ便ナラザル可カラズ、溫湯ハ勿論冷水スラ得難キ場合多キヲ以テ可及の水ヲ要セザル方法ナラザル可カラズ、等ノ要約ヲ具備スルヲ要ス、然ルニ現今一般ニ應用セラル、方法中、之ニ適スルモノナシ、強テ求ムンバシクリツチ氏ノ石鹼精法ナル可シト雖モ、石鹼精ノ如キ液體、携帶ニ不便ナリ、固形石鹼精ハ如何余ガ試驗セシ成績ハ、遺憾ナガラ石鹼精ニ比シ大ニ劣ル、沃丁幾一〇%沃丁依的兒ハ偉效アリ、然モ亦其ノ液體ナルヲ奈何セン、之ヲ要スルニ戰場ニ於テ完全ナル手ノ消毒ハ不可能ナリ、故ニ今日ノ程度ニテハ不完全ナガラ固形石鹼精ヲ以テ消毒シ、更ニ各指ノ末節ニ一〇%沃丁依的兒ヲ塗布スルヲ以テ、満足ヤザル可カラズ、若シ絕對的無菌手ヲ得ント欲セバ手套ヲ用ユル外ナシ

其他研究スベキハ器械及綿帶材料ノ消毒ナリ、手術室ナリ

之ヲ要スルニ戰場ニ於テ完全ナル防腐法ハ望ミ得ベカラズ、故ニ手術ハ己ヲ得ザルモノ、外企テザルヲ可トス、然リ而シテ防腐的創傷療法ノ神髓ハ形ニ在ラズシテ、實ニ當事者ノ頭腦ニ存ス故ニ今後野戰外科ノ消毒法ニ就イテ研究スベキモノ多々アリト雖、最重要ナルハ各人ノ頭腦鍛練之レナリ

●長管骨皮下骨折治驗

(廿二年卒業。陸軍一等軍醫) 吉田 幡 誠

骨折療法ハ從來專ラ骨折部ヲ修復シ、是レヲ絶對ニ安保シ漸ク其癒合ヲ待ツテ始メテ他働的ニ按摩法ヲ施シツ、アリシモ最近ニ至リテハ既ニ早期ニ於テ按摩法ヲ施スヲ以テ、却ツテ機能障礙ヲ貽サズ、迅速ノ恢復ヲ得ルコトヲ唱道スルニ至レリ、吾廣島衛戍病院ニ於テハエフ、ブルガルト、Burgard、ヨルダン、Jordan、バルデン、ホイエル、Bartenheuer、等諸家ノ所説ヲ參酌シ、獨早期按摩法ヲ施スノミナラズ、是ヲ施術スルニ當リテハ始終レンチエン放線透檢ヲ行ヒ、骨折局部ニ於ケル修復ノ適否癒合ノ狀態等ヲ解剖的ニ觀察シ、常ニ其適合ヲ圖リタルニ其成績頗ル良好ニシテ、早期按摩法ヲ施シタル患者十八名中一ノ機能障礙ヲ貽シタルモノナリ、悉ク兵業ニ服スルヲ得ルニ至レルヲ以テ、治癒退院セシメタリ、然ルニ其治療日數ハ諸家ノ成績ニ比シ、稍々長時日ヲ要セリ蓋シ骨折ハ完全癒合ヲ營ムト雖、兵業ノ耐否ヲ顧慮セザル可カラザレバナリ、故ニ普通ノ勞力ニ耐ユルニ至ルノ程度トセバ、尙十數日ヲ短縮セシメ得ルヤ論ヲ俟タズ、畢竟早期按摩法ハ彼ノ固定安保ノ爲ニ複雑ナル方法ヲ構シ、又患者ヲシテ永ク臥牀ニ苦マシムル等ノ困難ナク、少シク按摩術ニ慣ルレバ、術ヲ施ス極メテ簡單ニシテ、結果ハ却テ良好ナルモノト信セザル

討 論

江 口 龍 男

予ハ骨折修復ノ際ニ初メレルダ―氏法ヲ用ヒシモ、近時シユライヒ氏強溶液一・〇中千倍ノ鹽化「アドレナリン」液半滴ヲ加ヘタルモノヲ、骨折部ノ皮膚筋肉骨折端部ニ注入ス、決シテ筋肉ノ攣縮ヲ來スコトナク、又同時ニ組織内ノ出血ヲ防止シ、且ツ介着ヲ要スルコト少ナキノ利アリ

漫 錄

●英國に於ける醫育 (承前)

海軍々醫少監 隈 川 基

此他英國内各大學にて施行する入學試験の合格者は、醫學生籍に登録せらるべき資格あるものと認めらる。此他 Medical Licensing bodies 例之愛蘭丈の Royal College of Physicians and Surgeons の施行する Preliminary Examination 及び又大學以外の教育機關の施行する 初期醫學試験 Preliminary medical Examination 並に檢定試験 Certificate Examinations の合格者も亦登録せらるべきものとす。東洋諸國より來る學生は「ラテン」語の代りに、漢語、「サンズクリット」等を以て受験することを得べく、獨逸の「ギムナヂウム」及び「リアル、ギムナヂウム」の卒業者、佛國の文學並に理學得業士 (Bachelier es lettres et Bachelier es Sciences) 等は同一の資格ありと認めらる。醫學生は醫學々生籍登録後、何れかの大學にて少くも五ヶ年の正規課程を履むを要す。

醫學生 的要する費用は各學校により素より一様ならずと雖も、月謝及び教室費を以て平均一ヶ年百磅乃至五百十磅(千圓乃至千五百圓)を要すべく、生活費も亦決して少額にあらず。

General medical council の公表したる統計によれば、全醫學生の十四％は、最少年限五年にして醫師たるを得、三十五％は六年を費し、十八％は七年を費し、十三％は八年を費し、二十％は終に醫師たることを能はず。以上は全英國の總統計され共之を洲別すれば「スコットランド」にては五年に

其の醫師たるを得るもの二十三%、「アイルランド」にては十二%、「イン
 グランド」にては只僅々七%のみ。醫學々生の死亡率は四乃至五%ありと
 云ふ。

大學にて授與する稱號

先づ「オックスフォード」を述べん。

「オックスフォード」にては醫學に關する四種の稱號あり、二種は内科に屬
 し、二種は外科に屬す。

其他尙ほ二種 Diploma あり、一は衛生にして他は眼科とす。

B. M. (Bachelor of medicine)

内科

D. M. (Doctor of medicine)

B. ch. (Bachelor of chirurgy)

外科

M. ch. (Master of chirurgy)

D. P. H. (Diploma of public Health) 衛生

D. O. (Diploma of Ophthalmology) 眼科

B. M. 及び B. ch 試験

(イ)前期科目 (Preliminary Subjects)

Mechanics. (器械學)

Physics (理學)

Chemistry (化學) Animal morphology (動物形態學)

Botany (植物學)

(ロ)後期科目 (Professional subjects)

第一試験 有機化學、人體生理學、人體解剖學、藥局方、藥物學、

第二試験 内科學、外科學、産科學、病理學、法醫學、衛生學、

而て前期試験の一部は毎年六月及十二月、一部は三月及十二月、一部は三
 月及六月に施行せられ、後期試験は六月及十二月施行す。内科及外科の稱
 號試験科目には僅微の差あるも、殆ど同一と見做すを得。

D. M. 稱號を得たる後、一定の年月(二十四學期)以内に詮考試験に及第し
 たるもの、又は候補者名資格を得たる後、二ケ年以内に著述をふし、其實
 格ありを認定されたるものに授く。

M. ch.

B. ch. を得たる後、二十七學期内に公認されたる病院の當直醫として、六
 ケ月間勤務し、外科學、外科的解剖學、外科手術の試験に及第したるもの
 に授く。

Diploma

一定の眼科學、又は衛生學試験に及第したるものに授く。
 以上は「オックスフォード」大學の稱號とす。

「ケンブリッヂ」大學にては

M. B. B. C. M. D. の稱號あり、之を授くるの方法は「オ
 ックスフォード」を大差ふし。倫敦大學には M. B. (内科) B. S. (外科)

M. D. (内科) M. S. (外科)の稱號あり、M. B. M. S. は規定の卒業試問
 に及第したるものに兩者を同時に授與す。

倫敦大學

倫敦大學 University of London は一八三六年 Purely examining and
 degree conferring body 即ち單に試験を施行し、及び稱號を授與する機
 關として設立せられたるものありしが、其後學術を教授するの機關も名義上
 之に包含するに至りしあり。一八九八年の Act of parliament により一九
 〇〇年より明に倫敦大學は試験機關たると同時に教育機關とされり。英國
 首都に於ける有ゆる醫學學校(敢て醫科大學と稱せず實際に於て醫學學校と稱
 するを適當なりと考ふ)は悉く之が管理の(名義上)下にあり。
 敬職には二種あり、一は Appointed teacher にして、大學基金より報酬を
 與へらる、二は Recognised teacher にして各夫々の學校より直接報酬を

得。大學本部に於て教師として公認したるものとす此他多數の Lecturer なるものあり。

學生には二種の別あり、一は Internal Student にして、一は External student とす。前者は其校の入學試験に及第し、逐年其課程を履みつゝあるもの後者は入學後其大學にて特に認定したる教育機關に於て授業を受くるものとす。例之倫敦熱帯病學校、又は「リスター研究所」の如き、此の認定教育機關の一にして、各所の病院も亦之に算入すべし。

全課程修業年限は、五年乃至五年六ヶ月とす。其試験に關する詳細は「オクスフォード」の條下に述べたるものと大差なきを以て之を略す。

倫敦市にある有ゆる大なる病院には、皆醫學校を附屬す。先づ病院あり、然後醫學校を設立したるものにして、我邦等に於けるものとは創設の狀を異にす。

倫敦に於ける病院にして、醫學校を附屬するものを擧ぐれば左の如し。

1. St. Bartholomew's Hospital 病床七五〇基、醫學校附屬す
2. Charing Cross Hospital 病床二〇〇基、醫學校附屬す
3. St. George's Hospital 病床四三六基、醫學校附屬す
4. Guy's Hospital 病床六一八基、醫學校附屬す
5. King's College and Hospital 病床二二四基、キングスカレッジ 醫科に屬するものとす
6. London Hospital 病床九二二基、醫學校附屬す
7. St. Mary's Hospital 病床三〇一基、醫學校附屬す
8. Middlesex Hospital 病床三四五基、醫學校附屬す
9. St. Thomas' Hospital 病床六〇〇基、醫學校附屬す
10. University College Hospital 病床三〇〇基、醫學校附屬す
11. Westminster Hospital 病床二一五基、醫學校附屬す
12. Royal Free Hospital 病床一六五基、婦人科學校之に附屬す

試験規則

倫敦大學にて醫師資格を與ふる試験は會て Preliminary Scientific Examination, Intermediate Examination, Final Examination の三に分ちたりしや、近來之が名稱を變更して First, Second, Third Examination for medical degree となせり。

校内學生 Internal Student 得業士 Bachelor の稱號を得んと欲するものは、醫學々生籍に登録後校内學生として五年乃至五年六ヶ月間、必ず學校規定の學科を修得するを要す（中途學校を變更するも妨ふ）而後左の試験に及第せざる可らず。

- 第一試驗 無機化學、理事、生理學總論
- 第二試驗

第一部 有機化學及應用化學

第二部 解剖學、生理學、藥物學、藥局方を含む

第三試驗 又 M. B. (内科得業士) B. S. (外科得業士) 試験とも云ふ

内科學、(治療學及精神病學を含む)

外科學、産科學、婦人科學

病理學、法醫學、衛生學

校外學生 External Student 入學試験又は檢定試験を云ふを可とす(に合格したる後、五年乃至五年六ヶ月の後(校外生の語學は「ラテン」語、「ギリシヤ」語、佛語、獨乙語に限るの規定なれども何國語にても實際は認容せらるべし) 校内學生と同様なる試験に及第し、且つ終末試験を受くる前、少くとも一ヶ年間は公認の學校又は研究所にありたることを證明し、少くとも百回の人體解剖の講義及デモンストレーションに出席し、十二ヶ月以上解剖實習に従事し、六十回以上生理學の講義に陪し、六十回以上生理學、組織學、生理化學の實習に従事し、六十回以上藥物學の講義を聴き、其實習に従事し、二ヶ月以上調劑實習をなしたるものたるを要す。

前述の第一試験は、一年二回(七月及十二月)施行せられ、其受験料は二磅にして、第二試験の第一部は一年二回(三月及七月)施行せられ、其受験料は二磅、第二部は一年二回(三月及七月)施行せられ、其試験料は八磅とす。

M. B. 及 B. S. 試験

一年二回十月及五月に施行す。

此試験に應ずる者は、次の諸項を習得したる證明書を提出するを要す。

内科學 診斷學、精神病學、治療學

種痘術 外科學、外科手術學、外科解剖學

實際外科 痲醉術、眼科學、耳鼻咽喉科學

産科學 婦人科學、及び臨床實驗、病理學

細菌學 解剖實習、法醫學、衛生學

右の外二年間公認せられたる病院にありて、内外科の實地練習を遂げ、少くとも二ヶ月間、熱病々院にありて練習したるものたらざる可からず。又各六ヶ月間病院に於て繩帶實習、並に當直醫勤務に服したることあるを要す。

此の試験は二回に分ち、受験するが、又一時に受験するも妨げなし。

受験料は拾磅にして、再試験料は五磅とす。

M. D. 試験

一年二回、七月及十二月施行す、此試験に應ずるものは M. B. 及び B. S. 試験に及第したる後少くとも二ヶ年を経過したる者たらざる可からず、但し名譽 M. B. 又は B. S. を有するもの、或は某々の著述に依て此稱號を獲たるものは一ヶ年にして可なり。

M. D. 受験者は次の科目の一を選ぶべし。

- (一) 内科學、(二) 病理學、(三) 精神病學、(四) 産科婦人科學、(五) 國家醫學、(六) 熱帶病學

受験料二十磅、再試験料十磅。

M. S. 試験
一年二回、七月及十二月施行す、科目は外科學全般、受験料二十磅、再試験料十磅。

醫學協會授與の稱號

英國には上述の外醫學協會なるものあり、一定の試験に及第したるものに Diploma を授け「イングラント」に於ては、

Royal College of Physicians of London

Royal College of Surgeons of England.

之れなり、此の協會にて施行する試験に及第したるものには、各

Licence of the Royal College of Physician of London.

Diploma of member of the Royal College of Surgeon of England.

を授く。試験は第一、第二、第三試験に區別せられ毎年「四、七、十」月に施行す。第一第二試験料は各十「ギニー」一「ギニー」は一磅一志とす、試験科目は普通稱號試験と異なる處なし。

「スコットランド」にても亦「フクロ」を授與する醫學協會あり。

Royal College of Physicians of Edinburgh.

Royal College of Surgeons of Edinburgh.

Royal Faculty of Physicians and Surgeons of Glasgow. 之れなり。

愛蘭にて亦同様醫學協會あり。

Royal College of Physicians of Ireland.

Royal College of Surgeons of Irland. 之れなり。

醫學協會の會員及「フクロ」

各地の醫學協會にては、醫師にして内、外科共に其協會の Diploma を有するものにあらざれば、開業する權利を認めず。

倫敦皇立内科學協會(Royal College of Physician of London) は二種の Diploma を規定するは、一は「フクロ」(Fellow) にし、一は「メンバ」

(Member)とす。「メンバ」たらんとする者は、二十五歳以上にして商業に關係ふきもの、賣藥に關係ふきもの、藥品供給等に關し藥店と何等の關係ふきものにして、既に Doctor 又は Bachelor の稱號を有するもの(印度、及英領殖民地認承されたる外國醫學校の卒業者は之に準ず)たらざる可からず。試験は一部は學理、一部は實地とす加入金は四十「ギニー」(四十磅四十志)とし試験料は六「ギニー」とす。

「フエロー」は年々「メンバ」中より推薦す、彼ら M. R. C. P. 及び F. R. C. P. と稱するものは此の「メンバ」及「フエロー」たるを示すの畧號とす。英國皇立外科學協會の「フエロー」は名譽的に推擧するものにして、年々二名宛の「フエロー」を古參の「メンバ」中より推擧す、又試験により「フエロー」を授く F. R. C. S. は此「フエロー」たるを示すの畧號とす。

「スコットランド」「アイルランド」醫學協會の「メンバ」及「フエロー」に關する規定も倫敦のものと大同小異あり。

醫學卒業生の方向

日没する時ふしと誇稱せらるゝ程廣大なる領土と可驚人口とを有する英國は、年々僅に一千に充たざる醫師を社會に供給するのみ、焉ぞ克く需要を充たすを得べけんや。殖民地は英國の富源あり。衛生行政は其殖民政策の主要なる部分を占む。殖民地に於ける土民懷柔策として、醫療の普及を計らんとするにせざるは、歴代政府の苦心しつゝある處にして、年々殖民省が種々の好餌を提供して、少壯氣銳の醫人を此方面に囑集せんとに努力す。之を以て醫人其業を卒ふるや、争て之に趨くもの尠ならず、試に倫敦に於て多少の資産を有し、醫界に頭角を顯はし、門戸を張りつゝある醫人(勿論純粹の學者を指すにあらず)に就て其經歷を探らんか、皆之れ殖民地に於て其半生を送りし人たらざるべしと云ふも敢て過言にあらずあり。倫敦市に散在する高等下宿又は家族旅館に二、三の家族と共に、悠々其餘生を樂しみつゝある(敢て餘生と云ふ能はざるものも尠からず)もの、十

中八、九、は、實に其殖民地に長年月を送りし醫師たるを見る。之れ英國にありては新進の醫人が、學校卒業後教室に膠着し、孜孜として一科の專攻研究に耽るもの極めて少きの一因にして、日進月歩の科學中、特に醫學が之を獨佛等に比し遙かに遜色を呈するに至れる所以からざるべきを得んや。次に英國に於ける醫人が社會の如何なる方面に分配せらるゝかに就て一言せんざ欲す。

私 業

私業即ち開業醫は之を三種に區分するを得、如左。

General Practitioner (普通開業)

Consultant (醫學顧問業)

Specialist (專科門 醫)

醫學卒業生の八分の七は私業に従事すと云ふ英國全領土を通じては醫師需要供給の狀前述の如きものあるに拘らず、英本國に於ける開業難の聲は近時益々高きを見る。之れ工業國の常として人盡く都會に集中するき、及び貧民救療機關の完備せる等に依て、當然發起する劇烈なる醫師生存競争の結果に外ならず。英國醫學雜誌の統計に據れば、一八八二年「イン格蘭ド」及「ウェールズ」を通じて醫師數は一五、三八三人にして、人口は二六、三三四、九四二人、則ち醫師一人に付き人口一七一一〇に當りしが、一九〇八年には、醫師は二五、〇九二人に増加し、人口三五、三四八、七八〇人にして、醫師一人に付き人口一、四〇七に降りたり。如斯醫師數の逐年増加すること、亦生存競争を増劇するの因にして、同業醫中劣等なる輩は日に益々窮乏を告ぐるに至れるは、何處も同じく自然の淘汰の現象と見るの外なし。現時最劣等同業醫の診察料は普通二志六片(約一圓二十五錢)乃至五志(二圓五十錢)とす。而して都會の中央に門戸を張る普通同業醫一回の診察料は最低二「ギニー」(約十圓五十錢)を普通とせるが如し。

醫學顧問業は我邦等には之を見ざる處あるも、英國にては各處に之を見る。

其報酬は普通開業醫よりも高し。専門醫は一科の専門家として門戸を張るものにして、醫師中高等の部類に屬す、一回の診察料二「ギニー」(一「ギニー」は約十圓五十錢)三「ギニー」乃至六「ギニー」(とす)倫敦にありては専門醫、の有名なる連中は市の中央に近き「ハーレー、ストリート」に群住するを以て俗に「ハーレー、ストリート、ドクター」と稱す、尙ほ英國に於ては内科醫を *Physician* と稱し外科醫を *Surgeon* と呼び、ドクター某を云へば内科醫を意味し外科醫の敬稱には「ドクター」を用ゆることなく「ミスター」某と呼ぶを常とす)

我那にて病院を譯しつゝある *Hospital* は、字義の如く貧民救療機關にして、苟くも自活し得る者は患者として其門に入るを汚辱とす。之れ自ら好て貧民の群に投ずるを意味するのみならず、實に貧民の權利を侵害するの行爲ふればなり、自己の態面を重んじ、且つ他人の權利を尊重する彼等は、何事にも此美風を發揮す。之を以て所謂貧民にあらざるも僅かに生計を立てつゝある者も雖も、其病で自宅療養に適せざる時は、不得已 *Nursing Home* に入らざるを得ず。「ナーシング、ホーム」とは、私病室にして患者は、一定の借室料を拂て此處に入室し、自己の信頼する醫師の治療を受くるものとす。一週間の室代約三「ギニー」以上とす。又病院にて特に別個の建物有し、之を「ホーム」と唱へ私費患者の入室を許すものもあり。

醫師の謝禮診察料に就ては、一定の制裁なく、醫師は患者の身分に應じ、其欲する處を請求するを得べく、又何等法令を以て拘束せらるることなきを以て、己れの欲せざる場合には斷然診察を拒絶することを得。但し如斯は社會の狀況、英國の如く、且公設施療機關の完備彼が如き國に於て、始めて行はるべき處ありと信す。

公 業

軍隊勤務は三種とす、海軍、陸軍及印度軍醫之れあり。之を總稱して *Military Medical Service* 云ふ、殖民地公醫 *Colonial Service* は我輩

灣の公醫の如きものにして、殖民省に屬す、現時は可成其地の土人を教育して、醫師たらしめ普く之を配布するの方針あるも今尙ほ其多數は本國醫の占むる處たり、公醫を設置しつゝある殖民地及保護國は左の如し。

英領グイアナ、ジャマイカ、トリニダッド、ウインドワード島、リーワード島、英領ホンデウラス、フィジー、シーラレオン、ガンビヤ、ゴールドコースト、南及北ニゲリア、東部アフリカ、ユガング保護國、ニアツサランド、ソマリイランド、シロオン、香港モリテウス、海峽殖民地、マンー聯邦、セーチラス、サイプラス、ジブラルター、セントヘレン、フアルクランド島。

公醫たらんとする者は、倫敦又は「リヴァプール」熱帯病學校に於て、規定の講習を修むるを要し、採用試験に合格せざる可からず。右公醫には二種の別あり、一は全然公務にのみ服するもの、他は公務の傍ら開業を營むもの、而て後者には他日恩給を受領するの權利らし。

監獄醫、英國にては監獄は内務省に屬す、監獄醫は *Convict Prison Board* の所屬ありとす。二種に區別せらる、一は *Convict Service* にして、他は *Local Prison Service* あり。

現時は名義上の區分のみにして、實際何等の差別なく、小監獄にては、其附近の開業醫之を兼ね、俸給は「コンウイクトサービス」は三百磅より、五百五十磅迄、「ローカリプリズン、サービス」二百五十磅より五百五十磅迄とす。

衛生官吏、*Public Health Service* は、實は直接政府に屬する官吏にあらずして、其大部分は自治團體に屬する公吏なり。「イングラント」地方政廳には、二十三名の衛生官 *Medical Officer* を任用し衛生監督官、*Medical Inspector* とを任用しつゝあり。「スコットランド」「アイランド」についても、約同数の衛生官吏を有す。是等の衛生官吏は、開業の傍ら、其職務に服しつゝあるもの多く、從て俸給の如きも、比較的僅少なりとす。

倫敦市等の如き大なる自治機關には、專務に服務しつゝある衛生官吏を使用しつゝあり。年俸三百磅乃至千磅とす。衛生官吏たらんとするものは、D. P. H. (前に述べたり)の「デプロマ」を有するものにして、特に又國家醫學、衛生學、細菌學、化學的検査法に就て修養あるものならざる可からず。英國各大學にては、特に此志願者の爲めに講習科を設く。

此他精神病院、醫員、及び彼の貧民法(Poor Law)に屬する醫員あり。二種とす。一は常置醫員にして貧民治療養院内に居住して、勤務するもの、他は其附近の開業醫の兼務するものとす。(完)(醫海時報抄)

●獨逸の醫者と日本の醫者 (承前)

不曲書屋主人

開業免狀を以て醫業を行ふに、獨逸に於ては、法律家の意見によれば、同國の營業法の規定に準せればならぬと云ふことだ、即ち醫業は一の營業にして斷らず營利を目的とする行爲である、解釋されて居る。それで獨逸の醫者は此の解釋に對して、激烈なる反對をしたが目的を貫徹することが出来ぬ。千八百九十一年の六月二十四日發布の普國營業税法によれば、學術的行爲の實行、殊に醫者としての業務には、營業税を課さずとある。去れど此の解釋は獨逸の各聯邦に行はれて居らぬ例へは。ハンブルグに於ては、醫者が新たに其地に開業する場合には、其營業鑑札を受くる爲め、多額の鑑札料を拂はねばならぬ。普國に於ても、單に開業する醫者は、營業税に課せられぬが、病院或は療養所に於て、患者を收容し、之れによりて利益を得んとするもの、即ち一個の醫者の經營にあるものには、營業税を課することに於て居る。即ち慈善病院とか、團體の病院とか、又公立のものとかは營業税はふいのであるが、一個人の經營の病院は、營利的のものとして、營業税を課するのである。日本でも、下宿屋の親方が、

病院を作り。醫者を雇ふて經營して居ると云ふが如きは、全く營利の目的であることが明瞭であるから、之れには營業税位は課して可なりと思ふ。併し他の病院に於ては患者を治療する上に必要であるから、病院を設けるので、決して之に宿泊させて、宿屋の様に營利を目的とするのでないと思へれば、課税しないのが至當かも知れぬ。

獨逸に於て極めて必要なる事は、營業法第百十四條の醫者が他の召聘に應じふに時に罰せらるゝ規定の廢止されたることである、之に就ては日本の警察犯所罰令と關聯して尙ほ重ねて論ずる積りである。

營業法第二十九條によれば、開業醫は次の權利を有する、第一醫師外科醫、眼科醫、助産醫、或は同様の名稱を附すること、第二國家及市町村より醫者云々と認承せらるゝこと第三國家及市町村より公けの仕事を委任せらるゝことである。フリツケルは茲に國家及市町村と稱せるは、二者は公權の最要機關であるから、二者を擧げて、他の一般の公團體を代表せしめたのである。從て獨り國家及市町村のみならず、他の州、郡組合、寺院組合、學校組合等も此の内に包含せらるゝものと認めること云ふて居る。

次に醫者は、流浪的に醫術を行ひ得ること(獨逸國に於ける非醫者は其權利がふい)種痘を行ふこと、船醫とあること、傳染病の治療を行ふこと殊に、傳染病患者の隔離所に入ることを得べく又た醫者は屍體解剖及其他の検査に立ち會ひ得ること處方を書き、之れによりて劇薬を得ること、千九百二年二月七日の普國醫務省令に依れば、生命の危險ある場合には、醫者は電話に依て劇毒薬を處方するを得る、去れど藥劑師は斯くの如き場合に於ても、唯だ處方箋によりて交付し得るのである。

以上の如く、獨逸に於て、特に醫者の權利を列擧するのは、同國には殆んど公認されたる非醫者があつて、患者を治療して居るから、開業免狀を有する醫者は、斯くく權利を有するが、非醫者には左様の權利は無いと云ふことを一面に於て示すのである、今度獨逸に於て作つた非醫者取締法

の草案を見るに明に非醫者は此れ／＼の治療をしてはからぬ、傳染病患者を治療してはからぬと云ふ様な規定が設けられて居る。次に述べべきは醫者の法廷に於ける證人たるの拒絶權である。民事訴訟法第三百八十三條によれば、官職、地位或は職業により、其性質上或は法律の明文により、沈黙の義務あるものは、證人たることを拒絶することを許すとある。又た刑事訴訟法第五十二條には、(並に陸軍刑法第二百二十八條其職業施行の際委任されたものに對しては、醫師は證人たることを拒絶するを許す、但し沈黙の義務なき場合には證人たることを拒絶することを得ずと云ふ規定がある。實際此の解釋は、相當に込み入つて居るから、吾々素人は詳しく述べる事が出来ぬ。

次に醫者の權利としては第一陪審官たるを得ることにして之れを辭せんませば、召集一週以内に申し出でざるべからず。此の申し出なきときは、承諾したものと認めらる、第二は市の名譽職であるが、普國に於ては(ヘッセンナツサウを除く)醫者は市の名譽職を辭するの權がある、但し市衛生委員會の委員は辭することが出来ぬ、即ち此の名譽職は、如何なる場合にも引き受けなければならぬのである。第三町村の名譽職は唯だウエストフアン及ハンノーバー州に於てのみ辭するを得るので他の國では辭することが出来ぬ。第四區の名譽職は、普國に於ては辭することが出来ぬ。

尚ほ醫者は其治療したる患者に對して、治療費を請求し得るの權あり、但し其請求額は勿論醫師報酬規定以上あることは出来ぬ。

又た財産差押の場合に、醫者に於ては醫業を行ふに必要なる器具——必要缺くべからざるものゝみにあらず——醫者相當の衣類は差押ふることが出来ぬ。又た懐中時計、及診察室の如きも同様である。以上が先づ醫者としての權利であるが、日本に於ては以上の様に精細の規定が無い。

國家試験に及第して開業免許を得たる醫者は、直ちに開業して醫業を行ふを得る譯であるが、獨乙に於ては此の學校駆け出しの若者をして直ちに實

重なる人命を取扱はしむる程大膽では無い。即ち大學卒業後實地開業をするには、一定年間實地上的の練習を積ましむるのである。千九百一年五月二十八日發布の醫師試験規則第五十九條乃至第七十條は此の所謂「實地年限」を規定して居る。曰く醫師試験を了りし後、直ちに一年間大學クリニツク、大學ポリクリニツク、或は他の獨逸國內に於ける大なる病院に於て其院長或は指導者の監督指揮の下に、實地研究者として研究せざるべからず。尚ほ一ケ年間の内、少くとも三ヶ月は、内科病の診療に従事せざるべからず。此の實地研究者として入るべき病院は、候補者の隨意なれども、二回以上其研究所を變更するときは、開業免許を下附せる中央官衙の許可を得ねばならぬ。此の一年間の實習期に於て、醫者は其實地的智識及才能を涵養し、並に實地開業醫としての、職分及義務を習得するのである。然るに實地開業をするのに、ある場合には此の實習を充分に積むことの出来ない事情のあることがある。其處で千九百五年七月二十一日の布令は、止むを得ざる場合には、此の實習を省略し得るとを規定した。其止むを得ざる場合は、第一經濟上の關係で、資力なきとき。第二兵役上の關係で、半年間兵役に服されればならぬ場合。第三大學に於て専門科を變更したる等の爲め、年齢が進み居る場合。第四父兄の實地開業を繼續する場合。第五永く實地練習をふすを許さざる疾病ある場合である。

此實地年限中は、各病院其他に於て、勿論報酬を給さぬ學生時代よりは費用はいらぬ。

尚ほ此の實地練習は、獨乙國內ばかりでなく、例へばシツイツのダボスに在る獨乙療養所、在倫敦の獨乙病院、在ヒーターズブルグ新教病院の三個所の外、獨乙が國外に設けある海軍病院等十二個所の病院に於て修業し得る。

獨乙が此の實地年限の制を設けたるは最近十年來のことであるが、其成績は甚だ良い、一年間實地に就て練習をすれば、獨立開業する場合に其職業

上に自信もあり、安全である。

日本には此の實地年限の規定が、いから、學校卒業後直ちに開業するものが少くないけれども斯くの如きは、醫者自から不安心、病人の方でも不安心、従て患者も集つて來ない。遂に見世を仕舞ひ再び修業に出掛ける結局非常な損にゐる。寧ろ卒業後直ちに實地修業するに若かずだ。夫れも一般開業醫と異なるには、大學に行くより開業醫の代診或は小病院の醫員となつて、色々の病人に當つて經驗を積むがよろしい。大學病院へは色々の珍らしい病人が來るが、其等病人の多くは、初期のもので、大抵彼處此處で診療を受け、治効なきか或は診斷不明の爲め來るのが多い、然るに斯くの如き種類の病人に關する智識は、適切に一般開業醫には必要でない、一般開業醫は病の初期に各科に渉れる色々の病氣を診斷をもし、治療をせればからぬのであるから、矢張り開業醫の處に或は小病院に居つて、此等患者に對する實地上の經驗を得ることが必要である。

單に一年間の實地練習に止らず、尙ほ進んで深く學識を増さんとせば一般病院或は特殊の専門病院に助手として働くことが必要である。獨乙國に於ても以前は此の助手の位置を得ることは、中々に困難であつたが、今日は余程容易になつた。夫れは色々の病院や、療養所が、近年に至り、非常に増加し、而かも此等病院や療養所は、何れも助手を要するからである。又た獨乙醫師同盟會は、兩者の間に、紹介の勞を執つて居る。而して千九百八年の第三十六回獨乙醫師會は、助手の位置に關して、下の如き要求を出した。第一全然指導醫師の紹介及承諾を得て雇聘を約すること、第二初任の俸給は年に千二百「マルク」とし、且つ居室を給す。第三年々二百「マルク」宛増給す。第四外勤の時日を算入す。第五休暇を得るの權あり。第六職務上唯だ指導醫の下に屬す。第七病院より負傷の保險を附すること是れなり。日本に於ては、大學に於ける助手の位地は、其數少き爲め容易に有りつけぬ、而して俸給は基礎醫學に於ては年報四百八十圓臨床醫學に於て

は二百四十圓である。去れど卒業後直ちに此助手とすることは出來ぬ、初めは無給の助手といふので、之れを一二年辛棒して居る間に、助手の位地に空位を生ずれば採用せられるのであるが、併し之れは何人でもなれると云ふ譯でなく矢張り其教室の教授が、助手にしても良いと見込んだ者でなければぬ。専門學校に於ても同様である。唯だ給料が大學よりは少くない。大學以外の病院殊に私立病院等に行くときは俸給は多いが、研究は出來ない。又た私立病院では、成る丈け一二年間副手位をしたものを雇ふと云ふ傾を以て居る。此の點は獨乙も、どこは趣を異にして居る處である、即ち獨乙には大なる公立或は私立の病院があつて助手を指導するものがあるが、日本では未だ此れまでに進歩して居らぬ。東京に市の傳染病院、及び府の栗鴨病院、養育院京都に市の目吉病院ある等、僅に二三の指を屈するに過ぎぬのである。(未完) (醫海時報抄)

* * * * *

通信

●鈴木寛之助氏通信 (山崎教授宛)

(二十九年卒業。海軍々醫中監)

遣英艦隊消息

「マルセイユ」より第八信

觀艦式も結了し英國測の公の接待も終つたので我艦隊は六月二十八日午前

(通信)

英國艦隊及び參列々國軍艦と前後して「サウザンプトン」に向け抜錨した、英國艦隊は「キング」愛蘭土行幸隨に行し且つ演習を行ふ筈だき聞いた

「サウザンプトン」

は「スピッドヘッド」の北西十餘哩の所に位置し英國南岸唯一の大貿易港で英國の貿易港として重要なるものゝ一で各國漁船で此の地に寄港せぬものは少く倫敦の南西八十哩にあつて佛國「ルアーブル」との間に漁船が往復し英國と大陸とを連結する重要なる一線さあつて人口は十萬五千人(十年前の調査)棧橋船渠等の設備行届き世界に於ける大船巨船の容るゝに足り漁船の出入一年三千二百隻、五百五十萬噸貿易額三億圓を越え港は「ソレント」水道より北西に深く凹入した「サウザンプトン」水道(長さ約十哩幅約一哩乃至二哩)奥底「イツチエン」「テスト」両河會合点の洲端に位し、ズット昔から良港として知られ、軍隊輸送基地として殊に其名が高い千八百八十九年(七百二十三年前)及其后十字軍を送出したのも近くは英國の埃及遠征軍最近では南阿遠征軍の出發点とあつたのも此港である現に立派な軍隊輸送船が數隻碇泊してゐるのを見た平素から用意して置くものと思はれる二十八日午後 倫敦「クラリツチホテル」で加藤大使の晩餐會が開催され來賓は我御名代宮殿下「コンノード」殿下を始め皇族大臣將軍其他朝野の名士百余名で我艦隊から長官、艦長等出席した之に引續き同大使の「レセプション」(接見會)でも言ふが「が行はれ長官以下多數の士官出席したが來會する者頗る多く又二十九日には倫敦日本協會の晩餐會が「メトロポールホテル」で催され我兩殿下も御臨席長官以下十數名招かれて出席した來賓數百名何れの會も頗る盛會であつたそ

二十九日海軍大臣から東郷大將に宛て來電

戴冠式に兩殿下御參列の御任務滞りなく濟ませられたるを拜承し恐惶に堪はず然るべく殿下に言上ありたし又鞍馬、利根二艦の觀艦式參列も首尾よく終了し、慶賀の至り島村長官に御傳へなごふ 軍艦平戸二十九日

無事進水

三十日在倫敦正金銀行、日本銀行、郵船會社、三井物産會社、高田商會、大倉組等催にかゝる「クライテリオン、レスタラント」の午餐會に招待され長官以下數十名出席次で「リセントパーク」の「ローヤルホタニツク、ソサイテースガードウ」で日本人會主催の園遊會が開かれ、我兩殿下も御台臨我隊からは前記の人々出席共に盛會であつたき聞いた我隊の軍樂隊は此の會の興を添べく特に上倫樂を奏した以上倫敦の諸招待に關しては既に新聞紙上で知られたことと思ふ故此の所ては唯斯る會の行はれたき言ふことを記すに止める記事の乾燥無味なる譏は甘んじて之を受ける

七月一日東郷大將島村長官等「ネウイーククラブ」員の催した「ストロポールホテル」「ホワイトルーム」晩餐會に招かれ優待された之れを倫敦に於ける各種招待會の打止めとして艦隊は石炭補充の上七月三日出港「プレマス」に向ふ下士卒は「ボーツマス」で上陸を許さるゝ機會が遂にかつたが「サウザンプトン」で一回宛上陸を許された航海一夜四日午前八時を以て

「プレマス」に入港

國旗に對し禮砲を行ひ鎮守府長官と禮砲及訪問の交換等例の如く是まで寄港せる英國諸港は「ボートランド」「ボーツマス」又「サウザンプトン」も附近の地勢低平にして丘岡すら高く地上を抜く遠慮してゐる云ふ様な場合であつたが「プレマス」に来て山は高く、谷は多く、起伏を有し港内に入凸凹せる小岬角の頭邊が崖で樹木の繁茂してゐるものぞ、眼に快して何さなく氣持がよかつた

英國南西端を固むる軍港で倫敦から瀛車二百五十哩景色はよく歴史には富んでる各國漁船の出入繁々商港としても古來名高い「プレマス」は「デボンポート」「ブレマ」「ストントンハッス」の三街戸と集合より成り人口約二十萬軍港は「デボンポート」に在つて鎮守府司令長官と「メー」大將を戴き廣大なる造船所船渠等を有し多數艦艇を繋げる外、主戰巡洋艦「ライオン」(二萬二

千五百噸十三時半砲八門速力廿八節)の鐵裝、優ト型戰艦は「センチエリカ
ン」(二万五千噸十三時半砲十門速力二十一節)の建造をやつて居て糧音
賑かに吐き出される烟も活氣満々である。港は南に開口し西の「ペンリー」
岬と東の「ミユーストン」の間に狹まれて口の幅約三哩口から一哩程入つ
た所に東西に長さ一哩足らずの防波堤を築いて、これから内部が東西一哩半
南北二哩の廣さがある此所が所謂「ブレマス」の南港で此の北東隅に「プリ
ム」川が注ぎ西には「テーマー」の河口が連つて居る此川の東岸が「デウオンボ
ート」でこれと「プリマ」との間に「スホーンハウス」が両市の連鎖といふ形
で位置して居る「テーマー」川は迂曲し兩岸の凹凸出入多いがこれが軍港とし
て役立つる此所の一年間の商船入港數三千八百隻百二十万噸に達する本
艦在泊中世界第一の大瀛船「カリムセック」の寄港するに會した、此所の歴
史として面白いことは十六世紀「エリザベス」女皇の治世英國が世界的に大
發展の途に上つた頃英國幾多の大冒險航海者の出發点が皆此所であること
が其一、即ち千五百七十七年には有名なる「サー、フランシス、ドレーキ」が
世界周航の初程に此所から出發三年後此所に賑つた其後九十年千六百六十
八年「ケビテンクック」此所を出で濠洲探險に赴き四年の後之を再びした
當時北米合衆國が獨立し英國は此突つた大殖民地の代りを求めつゝあつた
ので殖民することゝあり遂に千七百八十七年其最初の殖民を送り出す迄に
あつた其殖民が七隻の船に乗つて出たのも此の「プリマス」であるこれが其
二、遡つて千五百八十八年八月百三十隻の大艦より成る西班牙の無敵艦隊
を僅に小艦百隻を以て英吉利海峡に遊へ戦ひ「ポートランド」沖から東方英
吉利海峡で撃破し西班牙海軍をして遂に振はざるに至らしめた此大活劇の
主人公「フランシスドレーキ」を初め「サー、ホワード」「ハッキンズ」等の海
將が敵を待ちつゝあつたは此の港で此の大捷の紀念碑が「ドレーキ」の像と
相並んで「ホー」公園に建てられてある是其三、

る更に「ナボレオン」第一世が英艦「ベネロハン」に戴せられ南大西洋の孤島
「セントヘレナ」に送られた時最後に出た港が「プリマス」であることが其
四、「ナボレオン」第三世が獨逸との戦に敗れた後此所へ来たことが、其
れが其五、
此の地及附近から「サー、フランシス、ドレーキ」「サー、ウオルターレン
」「ハッキンズ」「フロベツシヤー」を始めとし新世界を索めんがために
奮闘した多數の大航海家が出たのは英國の世界的大發展に對し此地の特に
誇りとする所である
「サー、フランシス、ドレーキ」は勇敢なる航海家として大事業を遂行したの
みならず此地の給水事業も其手で成して居る、其昔此地は飲料水の欠乏の
ために非常に苦しんだもので「ドレーキ」は是を救済せんがために「テーマ
ー」川の上流約十二哩にある「ウィーヤヘッド」に水源地を相し水道の大工
事を竣成し爾來市民は數百年間此恩恵に浴し「ドレーキ」は吾人に水を與へ
たりと今猶昔の如く其恩を記しつゝある而して是に對し毎年七月五日を
以て頌徳の祭典を行ふを例として居る我艦隊は初めの豫定では「プリマス」
に寄港せんとてあつたがズツト前から寄港を切望し「ポートランド」に居た
頃七月五日の紀念祭典の日に可成來泊せんことを望んで來た故此所に寄泊
したのであるそだ即ち此紀念の祭典例列せんがため招かれ寄港した様か
ものである、それで七月五日には長官以下多數の士官が此祭典に招かれて
行つた、先づ水源地「ウィーヤヘッド」に至り此所で大盃を以て水道の水を
酌み「ドレーキ」の忘る能はざる恩恵を謝し其徳を頌し後酒を以て更に祝盃
を擧げ紀念の頌徳祭は終る式は極めて簡單であるが斯くして適當の手段と方
法により公共のために力を盡した人の徳を頌し事業を紀念する風は直接
には其人と事業を紀念し永久に恩を忘れず間接には公共的精神の鼓舞奨
勵とある、如何に些細な事柄に對しても相當の謝恩と尊敬の意を表し是を
紀念して永く子孫に傳へるのは誠に美しい習俗であると思ふ

此所の「アンダートン」の「ワードパーク」に齡既に古稀を過ぎた「ウキラン」中佐が住んで居る。嘗て我海軍兵學校の教官であつた人で今猶我海軍の事を自分の如くに思つてゐる。言ふ島村長官が一度訪問されたが非常に喜んでゐる。

居ること二日其間英海軍からは工廠縱覽其他色々便宜を興へられた。而して下士卒は一回宛の上陸を許された。後七月六日午後四時出港。英吉利海峡に於て寄泊した。此最後の港を後に「バーロー」へ向つた。

七月七日は終日航行「イングラランド」と「アイランド」との間の「セントジョー」水道を北進した。英國名物の霧は矢張り此の邊に七姿を現はし。此の日空は快晴でありながら所々水面に接し濃霧があつて低く海面を寫めて

煙氣樓

の様ふものが彼所此方に現はれる。大汽船で煙突が見えぬものやら船体より櫓の大きい帆船や逆まに天に映じて櫓と櫓が其頂端を接してゐるもの行き違つた汽船が見る／＼うちに細い黒線と見えたり或は水線附近の赤色塗りの所ばかり現はれて居たり眞物の煙氣樓が岸に連つて見たり水蒸氣の作用は實に面白い變化をして見せる。風ふく海は油を流した如く艦が濃氣帯に觸れると氣味の悪い様ふ冷たい空氣が顔を撫て、行く／＼と思ふと濃密なる霧が來襲する。こゝもある而して「リウアプー」。「プリストル」。「カーデイフ」などの諸港皆此地にあるので航行汽船の数は多いから少しも油断は出來ぬ。殊に「リウアプー」は港外に淺瀬多く數十の燈台浮標等で航路を示してゐるが濃霧さふる航海者は苦心するのである。而も英米間往復汽船の發着点で船舶出入數に於て世界で一、二を爭ふ此港隨分離奇からぬ。こゝと謂ふべしだ。

八日早天「バーロー」、イン、フアーネス」沖に達し駿馬は十哩の沖合に投錨し利根は潮時を待つて港内に進入し船渠内に繋留した。

「バーロー」

は「イングラランド」の北西隅「フアーネス」半島の南西端に位置し「ワルネー」水道を隔て、細長い「ワルネー」島(南北約七哩幅約半哩)と相對した所に作られた港で人口七万餘。敦まで二六五哩港は遠淺で潮の干満差が三十尺以上ある。故干潮の時に港の殆んど全部は干潟さるるのである。即ち大なる人工を施して大船渠を築造し開門により船を出入せしむる様にしてある。五十年前は一寒村に過ぎなかつたが鐵道が開通し附近にある幾多の鑛山が採掘される様にあつてから急速に進歩した。此地附近に幾多の鐵鑛がある、畑の中山の麓所嫌はず平地に垂直に鑛を穿つて採鑛製鐵をやつてゐるものが多い。有名なる「ヴァイツッカー」會社の所在地で日に數万の職工を使用し艦船艇の建造をやつて居り對岸「ワルネー」島には職工のために同社の建てた「ヴァイツッカー」町がある。「ヴァイツッカー」會社の外二、三の會社があつて此鐵鑛「ヴァイツカ

ー」其他の會社も「バーロー」を發達せしめたものと謂ふことが出来る。我三笠、香取の如きは此會社の建造である。又現今英國主戰巡洋艦「プリンセスローヤル」(二万六千五百噸十三吋半砲八門速力二十八節)を艦裝中で我新大艦金剛(主戰巡洋艦)及び清國の小巡洋艦一隻船台上に在り相隣りして槌音勇ましく造られつゝある。猶英國の最新式小巡洋艦「ダートマス」も造られ今や殆んど完成して居る。大艦を建造しても前記の如き場所まで進水に非常に困難する。だる／＼と思はるゝが實際は高潮時に進水せしめ直ちに船渠内に入れて艦裝するから潮差の大ふるは不便の様で却て事實至極便利である。我海軍に縁故の深い殊に東郷大將の旗艦三笠を建造した所まで我艦隊の入港に對し五月頃から歓迎の意を通つて來てゐる。これに東郷大將も同時に來港さふつたので兩方に相關聯して大に歓迎の意を表した。入港當日の午後市長の招待により「ホスピタルパレード」及び「チルドレンソフイート」見物のため長官を初めとし多數の士官出席下士卒も三百名是に赴いた。山車の行列や多數小學校生徒の行列で賑はしかつた。そゝだ是等の行列は東郷大將を迎えるために催したのである。言ふが大將の來着が夕方であつたので大に失望

したき言ふことである「パロー」市民の全大將に對する歓迎は熱心ふもの
 で特にこれのために歌を作り之を謡つて歓迎して又我艦隊に對しても色
 々と便宜を與へ鞍馬と陸との交通用のため客船「レディーエベリン」を借用
 した

七月九日「フアーネス」鐵道會社の招待で、我長官以下准士官以上約七十名
 及此地駐在の我造船監督官等有る

湖水地方

の勝地回遊に赴いた「パロー」の北方は英國の脊骨山脈の西側に於て「カム
 パーランド」を稱する高地で方四十哩程の處に大小四十幾個の湖水が山間
 に散在し英國湖水地方として其名を知られた勝地是れ英國の地を踏んだ人
 は必ず來り見るべき名所の一とまつて居て其交通のために、特に二三の鐵
 道會社が成立つて居る位である

「パロー」海岸の「ドック」停車場を發車したが午前十時頃窓外には右にも左
 にも澤山の鐵鑛が見え所々製鐵所が大煙突から煙を吐いてる瀛車の進むに
 從ひ眺望がよくふつて英國流の景色に耕地と山を加味して來たから面白い
 「アルヴァーストン」「グリーンノッド」などを過ぎて十一時少し過ぎ「レーキ
 サイド」に着した此所は多數の湖水中最も有名なる「ウインダーミーヤ」湖
 の南端に濱して「フアーネス」鐵道會社の遊覽瀛船の發着所で「ホテル」や休
 憩所等完備して此の湖水は南北に細長く殆んど一直線で全長十一哩許り
 東西の幅は最大一哩余中に數箇の島を浮べ兩岸は山勢緩斜をなし水邊は美
 しく牧場の如く且つ樹木繁茂し別荘の様ふ家か此所彼所綠樹の間に隱現し
 てる湖面の海面上の高さ約百三十呎最深二百四十呎と稱せらる鐵道會社の
 遊覽瀛船「スキフト」に乗つて出發北へ向つた湖水と言ふよりは寧ろ流れの
 かい川の様で兩岸は優しい穩かふ最高二千呎足らずの山が聳え其麓かふだ
 らかに水邊に及んで極めて平和的繪の様ふ景色である所々に「ボート」を浮
 べてさも愉快そーに遣つて居るものがある幅が狭いから手を延ばせば岸の樹

(通信)

の枝に觸れん許り水面は静かで映つて居る樹の葉も明かふる程之を吾々の瀛
 船の立てた波で揺がれつゝ行く湖心の島は何れも一掴みの樹に塊を浮べた
 と同様のものそれでも湖面に變化を與へて景色を美しく見せて居る行々案内
 記を廣げて兩岸を眺めながら「彼所が何さいふ所ぞら彼の家が誰が何した
 家」など成程式の感心をやつてる人もある進むこゝ四哩余東岸林間に一
 屋を見る今より八十幾年の昔當時の此の家の主人「ガーネルホルトン」が時
 の文豪「ウォルズウォルス」「スコット」「カンニング」「サウジ」「クリスト
 ファー」「イス」などを招いて御馳走したので有名なる此の湖に來た旅客の
 見落すべからざるもの、一である行くこゝ一哩半美人島を初め數個の大小の
 島が點在して此湖上風光最も美しい所にかゝる、東岸に「ボウネス」云ふ
 所があるこれから北東一哩半で「ウインダーミーヤ」の町に達する即ち此
 の湖に名を與へた町鐵道は南方「ケンダル」から來て英國諸方面に連つて
 居る

次が湖の最廣部である巒で湖の北端「ウオーターヘット」に着したのが彼是
 十二時直ちにかれて用意の馬車十四台に分乗し「アムブルサイド」の町を過
 ぎ「ライダール」湖の北岸を「グラスミーヤ」湖に向ひ北東に「たんと」を走らす
 此邊の山是まで見た英國の景色とは全く違て多少男らしい風を備へて來て
 樹木の繁り方も大袈裟である前程を望めば山勢漸く急峻山頂幾多の巨巖を
 飾つたもの磊々たる巖山突元として聳えて居るものふどあつて山容樹姿日本
 の山の様だ久振りに斯かる景色を眼にしたので清々とした斯くして四哩余
 を行き「プリンス、オブウエールス、レーキ、ホテル」云ふ長い名の「ホテ
 ル」に着いた東郷大將と長官の一行は自動車で先着して居られた
 此の沿道に「ウォールズウォルズ」が腰を掛けて詩を詠じた石と其住居
 であつた「タプ、コッテデー」又其墓があつて行客は必ず訪ひて文豪の跡を
 偲ぶ

庭園で一休其間幾度が寫眞機械が持ち出され東郷大將と長官とが撮影の目

的さふつた、總て一同食堂に入り晝食、主人側の歓迎の辭に對し東郷大將の莊重なる日本語の挨拶があつて、谷中佐が是を英譯し次で島村長官の英語の答辭があつて三時半を過ぎた頃出發再びもと来た道を南へ歸つた。飯途湖上で行き會つた一隻の「ボート」が俄か作りの日章旗(日の丸が片面にしかひ)を樹立して歓迎の意を表はしたのは滑稽であつた。

此の地方の山と水と相映じ相和して優しい美しい景色をふして居る唯惜しいことには松が極めて少ふい従つて蓋々天を摩して豪邁千古の意氣を示す様な或は曲幹蜿蜒巨龍の水を呼ばんとする如き姿態を見ることの出來ぬは勿論温帶國の水と山雪雄渾跌宕の景色を與ふる一大要素を欠いて居るので男らしい点が少ふい英國人の詩とする櫛の如きは問題以外であるも一つ此地に限らず全英國の風光に足りふいものは火山的の山岳のふいことである是れは如何にも残念である。

乍併英國に於ける名勝として世界に名を知られたる所だけに立派なものである而して數千尺の山頂溪谷尙も行つて訪ふに足るべき所は鐵道を布き道路を開き車馬を馳らすべく到る所旅箱等の設備これらきばかく四時訪客絶ゆるの時がふい。

十日は出港の日である八日と此日の二日候補生以上は半數宛「ウィツカー」會社の工場を見學し建造中の我金剛をも見た工場は中々盛んなものである茲に特記すべきは本年春此所の工場で進水した英國海軍用飛行船第一號が其繋留船渠(船渠と稱するよりも倉庫と言ふ方が却て適切かも知れぬ大きな亞鉛板張の普通の倉庫に似てるもの)に収納されて居るとである勿論内部の縦覧は出來ふいが大いものであるこれに對し巡洋艦「ハーミカン」が母艦として其側の岸壁に繋泊して一ヶ月経たぬ内に試航をやる事聞いた。此の日東郷大將一行(英海軍より特に附隨の「ダンガス」少將も此内にあり)も長官と共に工場を視察され了つて全大將を正賓として午餐の饗應があつた午後三時半から鞍馬で「アトホーム」を開き約五百名の客を招き工場見學

一行は來賓と共に「アンディーエウエリン」(客船)に同乗して飯艦し東郷大將も來艦せられ「パロー」在留の我海軍の人も多く來會したので非常の盛況であつた來賓は飯る時には全大將と同乗したので、益々大喜び元來歐洲人は好奇心に富んで居て知名の士と握手したり言葉交へたりするのを光榮とし且つ人に之を誇るの風がある其人々が東郷大將と握手し言葉を交へ且同じ船に乗るを得たのであるから喜ぶのも無理のふい話である。

利根は此日午前船渠を出て鞍馬の側に来り泊した午後八時投錨「グリーンノック」に向ふ蘇格蘭の山影水色自からこれまで異なるものがあること樂しみにして行く。

翌正午頃には「フアースカヴ、クライド」(「グライド」の河が海に連つて細長い灣が出來てる所)に差掛つた此邊東西の幅十哩から十五哩「アーレン」島を左にし高峻な山を右手に眺めながら北へ向つて奥へへ進むこと二十哩幅が俄かに十二哩に狭まり兩岸は山勢逼つて來て岩角岬頭一々指呼することが出る山腹から水際までばらばらと家が連つてる小ぢな町が幾つもある眼に入る樹は善く繁り水も清く景色は中々によい此邊一帶は既に港と稱するも差支へない様所多く行き交ふ漁船の中には是等の町を「グリーンノック」との間を往復する客船も見えるかくて猶行くとも十六七哩「クロツグ」岬を東に廻り東の方へ數哩、水道全体が港をふして居る故何の邊が「グリーンノック」の泊地とあつて居るやら分らぬので午後四時二十幾分ドブリンガラへと投錨したさて

「グリーンノック」

さは何かある所かと云ふに有名なる「グライド」河口の南岸にあつて英國第二の大都「グラスゴー」の海口と言ふべき所水道全体が細長く大河の如き形を有し深からず浅からず加ふるに四方の山は高く風や波の憂はかく大船巨舶幾百隻來てもびくとせぬと云ふ工合既に天成の港である此の点は是まで寄港した英國諸港と異なり寧ろ日本の港に似て居る。

と云つても日本の港の如く打遣つてふい岸は立派に構築され棧橋阜頭少いふがらも繋船渠もある「グラスゴー」を控へ英國北半の物資吞吐口と謂ふべく船舶の出入中々に繁く加之附近の山は氣持よい程奇抜（これまで見た英國の山に比較して）で殊に對岸即ち北岸は急峻ふ山が近く起つて疊み相重り岸邊は山勢壁立するもあり又低い緩傾斜の半島が遠く北から下つても走つて小丘速豆樹木は鬱茂一面の公園は稱すべき程の所もあるこれを蘇國一流の家が所々に彩つて白と緑、緑と赤、赤と海色、海色と山容と互に相映じ相須つて一段の趣を添へて居る而して奥へと遡れば「グライド」の河流とあり二十幾哩遂に「グラスゴー」に達するのである此邊即ち蘇格蘭西岸は水陸の出入非常に著しく出入と云ふよりは海が河の如く狭くあつて山の豁間を五哩も十哩も入り込んで居ると云ふ方が適切な位ひ而も其の入り込んで居る方向が南西から北東に向つて居るのが多いこんふ工合であるから島も多い而して何れも嵩壁斷崖屹立して居る「グライド」より北方が有名なる湖水に富んで居る地圖を見るに直ぐわかるが蘇國の北部は前記の如き海の深入は東岸にも在つて其方向が西岸に於けるものと一致して居る而して陸を侵して深入した多數の細い水帯が所々陸のため斷たれて幾多の湖水が出来たと考へれば大体の想像はつく「グライド」川附近は即ち此の一部分である「スコット」の「湖上の美人」で有名なる「カツリン」湖の如きも此の地方にあつて涼車と涼船により日歸りて往つて來られる

軍 艦 鞍 馬

●宮川薫氏通信 (影山清美氏宛) (三十九年卒業)

其後ほど一も御無沙汰に打過ぎ誠に申譯さき次第時下殘暑の候貴下愈御健かに御研究遊ばされ候事と奉推察候自分も開業以來平々凡々金も出來ふし研究も出來ふし只數日前小供(製造方の誤りて女子)を一人出かしたのみ

(通信)

段々考へて見ると同窓中渡邊君黒木丹羽諸氏去り僕等と捧組の田中義雄之れは小川町と云ふへ開業し嚴然と花やかに業を始めた處みてくりは隨分の經驗家の如くも見へ御存じの交際家と云ふ方あれば忽ち門前市をふし同町開業先輩十人を壓して其隨一とあり申々の評判あり

信州の横山君は毎日外來七十以上と十全會雜誌に報告ありしが新き開業者としては成功の方あり。

然るにど一ですあの金で、鬼をもひしがんずる田中氏滿一ヶ年以内にFhチュウ不治の病に犯され僅に數月にして白玉樓の人と化し終れり

ついで岩崎裏藏氏四十一年漸く卒業し歸村早々妻君を迎へたり僕より二年遅く卒業し僕と同村に開業し僕より一年近くも先に妻を娶り而も三ヶ月にして岩崎先生自身肺炎を病み上京して或大學に赤十字に順天堂に入院加療せしが藥石効なくTB性ペリトニチス兼喉頭TBチフ恐ろしき併發病を兼ね此四月廿何日遂に逝けり

僕の同郷の友たる前記二人共同しPhにて忽ちに逝き更に十全會雜誌の來る毎に一人二人の死亡者の揭示せられさるることふし之を思ふとモ一世中はいやにおつた本氣で病人の診療ふとするはやめたくなつた

山田章一郎氏の如きはモ一五人製造した兒福者と云ふべしだ

僕の近所には眼科専門で素人調劑人二人と先生一人で毎に入院外來少くとも三百多い時には五百と云ふ成功者あり名古屋卒業後河本博士の助手二年と云ふ先生だそれこそそのふよ一だ一度其門をくぐれば驚く埼玉群馬長野

時によると東京府下より入院するものあり入院料一日廿五錢にて食費治療費全部を含む外來患者には普通十瓦点眼ビン一個及硼酸加過マンガン酸カリ二瓦一包のものを七包與へ七日分の藥十五錢より二十錢その上に一度洗眼してやる其安いにも驚くへしど一しても河本博士自宅外來よりは遙かに多いそ一た醫療器械屋を開東八州を巡廻して醫師を訪ふ人の話によると開東では鬼に角第一の流行家ありと

僕の治療患者の一人先日東京桐淵博士(眼科)の病院に入院し歸りての話しに入院患者計廿四人あり僕の近所では内科の散薬水薬各一日十五錢を普通三日分を投薬す故に一人の患者で九十錢とれる之れでは餘りだ云ふので七十五錢にして居る十人で七圓五十錢廿人で十五圓さる一日の収入としてはい多い方だが僕等はこてもういはい

僕は片田舎の開業で而も万屋の方だが一ヶ年新患數千人以上二千人をためて居る患者の種子の善悪によるが之れで千五百圓以上四千圓の収入にある計算だ今迄の所でだめて居るばかりで中々目的通りに行かぬ考へも少いか又かわいそーだろー其變り費用は少しも掛けぬ先生と妻君だけでふんでもやる仕組ふのだ

藥品消耗品一に對して十の収入の計算にあるよーだモ一開業もいやにふつたから都合によれば臺灣邊へでも高飛ひしよーかと考へて居るが先日小供を出かしたので誠に都合がわるくふつてよわかりました

石坂直二郎君眼科専門で非常の抱負を以て金澤へ開業の由様子を伺ひたいものた樋口君も内科を以て開業の由同窓の友が近所に居て随分面白い事もあるでしよー未だ引つゝき御研究の都合なりや將來の御目的等知らせ賜はれ

學士號も少し長過ぎるので世間の受けが宜敷い様子だか其後希望者は幾人位にありましたか之れも知らせ下さい得業士と云ふより……………學校醫學士と云ふた方が上手げに見へる様子が有之候哉兎に角本部に君は居るから様子はよく御存じである

學士先生の論文が十全會雜誌に更に見へぬ様だか之は秘密にする都合なりや大坂醫學學校の學士論文などは随分雜誌にも見へるが中々ふまいきのがあるよーだろくに病名もつけらるべき筈のない新卒業生の論文としては如何にも専門的で高尙ふのがふまいきふのかかわからぬ金澤のはどんふのが出ました

開業醫では中々論文はつくれぬ『リテラツール』もさがす準備はふい論文を提出して合格すれば云々さ六つかしき規則の處へ尻をひつた様ふ實驗談は却てお笑ひ草さるべしと云つて學士號がほしくつてたまらぬ譯でもない骨を折りて字引を引きて作らふければだめさから入用はふい驗定料も後でもない、ふるべく稱號を一定したいと云ふのふらもらつてもよい

イ。クラウス氏顯微鏡對物鏡5 10對眼鏡2 4を所持致し候之れにて七十四倍、百三十倍、四百六十倍及八百倍の四種が見らるゝ都合に御座候今迄加さして『オクタル』5號を購求せば千四十倍に用ひ得るや別記扉大表によれば元より用ひ得る譯ふれども普通千倍以上さるさ『オイル。インメルザン』となり居る様ふりつまり學問上の問題は光線が『オフジエクトグラス』より空氣を経て對物鏡に入り來るものにて強廓大の場合には屈折系

枝の差を可成的僅少にする爲めに前記空氣の所を『チューアル』油に交換するものふりさ云ふ然れども小生の如く今對眼鏡の第5號を求めて千四十倍に用ふることは如何のものにや之れが爲めに物像不明瞭さふり實際には應用し得ざるものに候哉

右御取調への上御示教下され度御手数ながら御願申上候
九月六日 群馬縣多野郡美原村 宮川 薫

●鈴木正孝君通信

(山崎教授松原教授宛) (四十二年卒業山形縣米澤病院)

殘暑未退の折柄閣下には益々御勇健の段那家の爲め母校の爲め欣喜之事に候却説迂生事在校中は公私共に御厚情を賜はり御分れ申候後も御伺申上度寸時も念頭を離れ不申候へ共例の貧乏暇なしにて遂に延引仕り何卒御寛容賜はり度候左に當秋田地方の醫事を御報申上げ我が母校出身諸君の此等優待の地に羽翼を張られん事希望に耐へず候
一、醫士を遇するに最上の禮を以つてし之れを富豪に比せば三十万圓以上

の財産家を遇するこ一對にて出づるに人車あり馬背あり舟遊ありて忠家に於ては醫士を招くを非常の名譽せざるもの、如くにて候

一、患者は殆んど凡ての種類を網羅し尙ほ小學校の体格検査種痘或は酌婦の檢診まで有之時には産床に望む事も有之候

一、當米澤病院は一町八ヶ村の共立に係り日を刻して此八ヶ村に出診任り尙ほ此の組合町村にて求めに應じて往診仕り候が其の都度藥籠を車上携帶し隨所之を開きて調劑するの体にて醫士兼藥局生の体にて迂生等の如き將來一人開業せんとする人には両者をも習得して尤も妙に候

一、病氣は凡て普通一般のものに候が衛生思想の不行屆河水を飲用する爲めかアンキロや蛔虫の宿主たりざる人無之候尙ほ婦人の勞働の爲め流産するもの多く婦人科疾病も有之尙ほ聞く所によれば以前は死する時にあらざれば醫を煩はさぬものと思ひしとて現今にても病膏盲に入らざれば診を乞ふもの少ふく候故に病の經過等を見るにも至極妙に候

一、當地は森林美と山嶽の秀麗さを誇りとせる所馬上往診する際の風光迎も兼六公園の箱庭的の比に無之候

一、尙ほ秋田縣は兎角千葉醫專の勢力範圍の様に我が同胞は皆無の様に候いで奮勵母校の範圍に加へられん事を

右の次第にて迂生等の如き初心者には實地非常に益する所多きか存ぜられ候先は御無沙汰の伺ひ旁一寸御報申上度候乍末筆諸先生閣下に宜敷御鶴聲賜はり度候拜具 (八月三十一日)

●鈴木伊作氏通信 (近藤清吾氏宛)

同氏は四十二年卒業其後婦人科教室に助手醫員として勤務されしか昨年九月郷里北蒲原郡黒川村に開業さる

秋冷の候に相向ひ申候處大兄益御清榮御研鑽の段奉遙賀候小生事も相變ら

(通信)

す頑強罷在候間何卒御放念之程願上候先日は芳墨を賜はり御芳志の段深く御禮申上候小生も度々御伺可申答之處其意に任せず失禮之段何卒御海容願上候御地に於ては同窓諸兄屢々御會合御歡談の由羨ましく小生も飛行機にても……………と御承知の山谷にて遙かに尾山城と思しき空を打ち眺め申居候

開業以來格別痛快なる事も御座ふく平々凡々にて只一回亂暴にして頗る大膽なる手術も施行仕候御笑ひ迄に可申上候五月二十一日午前八時頃余は二里餘の村に往診(前日より行きて宿泊せるふり)致し居り候處更に其村より半里程ある患家より難産を訴へて往診を求められ候然れども小生は一の産科器所持せざる故を以て斷り候へ共懇願己むを得ず一診仕り候處 Kopf in Lageにして兒頭は已に骨盤に嵌入し破水後約一晝夜を経過せし由に候 Becken は狭窄を有せるものと推診仕り候之れ小生は骨盤計を有せざりし故なれと而して母牀は刻々危険症狀を呈し來るを如何せん(胎兒心音は不正一五八)他醫師に應援を求むる事も何れの方面にても曲二里餘の山道を徒歩し往復少ふくも六時間を費さる可からず余は全く窮せり最後に余は往診袍より外科メス鍬及び「コツヘル」各一を手にせり「カンフル」二筒は射後此亂暴ふる手術に着手せり一時間の後に兒頭を破碎娩出せり余の窮狀御推察し被下度候幸に其後産婦は些の障害を残さず産褥を経過仕候素より余は學術的の貴兄へ報告するものにては無之只小生地方にては斯の如き事に相遇する事も有之候と云ふ事小生の窮狀を御推察下され候はゞ一入の御慰みにもふらんか存じ如斯に御座候

何卒小生の如きよし(章名)の體的に蠢動せる憐なる者へ續々面白き事を御報道ふし被下度終りに同窓諸兄にもよろしく願上候頓首

處此の頃急に發作増加致し種々試み申候へ共効なく昨日などは三十二回も發作致し「カンフル」注射後「コラール」の流腸致し候へ共無効にて持て余し居候此等の患者に對しては別に療法なきものに御座候や先生の御教示を仰ぎ度候時節柄先生の益々御壯健に渡らせられむ事を祈り上げ候勿々頓首

東京大久保。大久保腦病院にて

●矢吹清君通信 (石譯氏宛) (四十三年卒業)

拜啓其後は御無音至極の段平に御宥免下され度候時下秋冷日増しに相加はるの候大兄には何等の御變りもなく御精勵の事さば存下候へ共如何に御座被遊候や時節柄御保養專一にふるまへ候小生は去る十四日當地に着致候第一に阜頭より上り案内出迎の人々に導かれ直ちに宿舍に入り候爾後毎日々々通院する次第に御座候豫想に反して當地は構造設備及び諸器諸物品の活用の点について金澤病院の及ばぬ處も多々ある様に見受けられ候且つ其の研究的の態度にて職務に盡力せらるゝ点に於て少ふくも金澤病院にありし當時の小生に比して雲泥の差云ひたき程に御座候又重大なる仕事の容易にあさるゝ点に於て何さなく獨り興味を催す次第に御座候是れ醫長の研究的態度、教導的の態度研究助力の態度實に生みの母校の諸先生にも稀れふる人に御座候、且つ諸器械の整頓せる且つ活用せる實に見事に御座候又光線及寫眞部に受持ち二人有之又電氣療法按摩療法等にも各受持主任あり其れも盡力致し候小生當地着後何んぞも自分の未來の續ける様に思はれ候も然し語學の足らぬ實地研究の欠けたるとは残念至極に御座候然し學用患者は多數あり且つ藥品及物品は買ふに任するにより研究は出来る事さ存候語學研究の一朝一夕に出来ぬには殆んど閉口仕り候少くも一ヶ國語は是非なくばならず候且つ英國人露國人獨人清人の入院患者には閉口頓首する次第に御座候獨逸語は教師ありて毎夕教授致し候近來は又清國語を

始め候少し氣を強く持たざるに於ては他人の研究力の爲めに壓倒せられて手も足も出ぬ有様に相成る次第に御座候且つ醫員は各學校の出身あり好き意味の競争が暗々裏にあり面白く御座候面白き事多々あり候へ共後便に申べく候草々

清國大連醫院外科病理研究室にて 矢吹清

●東京呆蛙生通信 (十全會宛)

謹啓新涼入郊塘、燈火稍可親、維れ此の好時校下午千の諸兄身神益々御堅實の事さ遙かに奉慶賀候夜半秋光古來幾多人さして家郷に思を走らしむ月は諒らすも蓋し其の清澄の神秘と適ま以て人の腦裏に同様に神秘的衝動を興ふるかために然る乎。遙かに懐ふ兼六の秋光今や則ち如何。臥龍の月、犀麻の清流、河北の白帆を憶ひ來たればさても懐かしき哉更らに又綿々情を禁する能はず候金城靈澤の名何んぞ夫れ靈的なるや、而して其の名其の實に背かず、仰げば蒼空一碧澄みて高く俯せば鏡の水清く溢る、回顧すれば靈白山的一幕神戲犯かずべからず渺々海洋の雄大前に展く、由來居地の人の腦裏に感化を興ふるや大也此れ此の好地に氣を吸ふて切々學びの園に勵む兄等や乃至會つて吸ひ育ちし生等や至幸至福にこそ、自ら重んずべからずや、綠樹の蔭漸く濃かふらんさする次序や漂然此の好地を走りて笈を京地に負ひ遊ぶ是乎非乎予の自から知る所にあらずも只た餘々月を消す已に十旬餘此間見る事聞く事漸く寸指を走らす已に蓋まりたり今は則ち其れを其儘録して後に遊ばんとする人のために供し候。但し百人自から百目也觀る所一ならず、若し其れ此の有の儘の寫しに對して採るべき判斷に至りては只だ兄等御名々の方寸に畫かるゝ主觀によりて定まる事に候。大學に介補あるものゝ制度あるは千萬御承知の筈に候介補のぶす所は外來診察に際して専ら處方を書くさ云ふ事に候之れのみにては其の無趣味無益な

る事殆んど常人の堪ふる處にあらざるも他に之れに伴ふ聊か有益と思はるゝ点なきにあらざりて幾分慰むるに足る其れは他ふし大學云ふ事のためにも然るか或ひは人々稠密云ふ爲めに然るかは知らざれ共診察を乞ふ患者の數及び種類の夥多なる事は殆んど想像に難き程なる云ふ事に候從つて種々の興味ある場合を見聞する機會を得る事此れ其の一、諸内科を通じて則ち青山内科たるも三浦内科たるも入澤内科たるも問はず種々のクリニクに傍聽せんとせば隨意に候之れ其の二、勿論又講義をも聞かむと欲せば之亦隨意に候只だに内科のみならず小兒科にても耳鼻科にても皮膚科外科等知己の人もあらむには懇願し此等の臨床講義等も傍聽隨意に候べし是れ其の三、宿直の助手に懇望して病室廻診の時隨伴其の科のクラウンを診し廻はるの機會も得られ候之れ其の四、終はりに又興味あるは外、内、産婦人科、小兒科等各科の屍体の多くはセクチオンに附せられ此セクチオンに列する云ふ事は又隨意に傍觀せられ候事に候臨床上興味ある病患あるが如く此のセクチオンも亦種々のライヘを網羅解體せられ候以上の点に於ては大に開放的にして予等外遊者に取りては甚だ有り難く思はるゝ處に候先づサツト此云ふ處だと思召しあらば間違も無之候、事を修むる自から序あり基礎を廣きに築きて深きを究めんとするも其一、始め一様に深く究めて終はりに順次廣きに展開せんとする其二、二者何れに取るべきかは各自の欲する所に隨ふべし卒直に此の大學介補あるもの、立場より判斷せば何れか云へば寧ろ前者の一階段たるべきかと存せられ候遊ばんとする士此觀察点より判斷せば莫くは蹉跎少ふかるべきか、産婦人科外科耳鼻科に總て外遊者に取りて佳ふりの利便を興ふる程度に開放的なるは同一に候少しく詳記せむに産婦人科によりては外來患者の處置練習の技術を得る事充分、聽講クリニクフアントームユープングも亦勝手に候時によりては又産室に至り見る事も得、入院患者の處置も托せらるゝ事有之候内外科耳鼻科皮膚科眼科等大抵大同小異にして技術練習及び生等の研究的利便を興

へられ開放的あるは同一に候思ふに各科通じて持て餘まず迄に患者數の多い云ふ餘響が外遊者にも相當の材料を供せらるゝに至るかと存せられ候他に公的病院としては赤十字病院三井病院等尤あるものに候べし養育院駒込病院に就いては今知悉する所尠ければ後日又筆の序に申述ぶる機會もあらむか赤十字病院には竹中氏あり此處も乞診患者多き事一頭地を抜けり而して講義臨床講義も隨時開かれて醫員之れに傍聽實義等隨意又勿論病院診察もふし得べし然し此院は總て規律を尊ぶ事大學の開放的なるも異なるやに聞及候猶ほ醫員として入らむとするや可ふり嚴重なる質問に答へ難度目的など院長目前に質さるゝやに聞及候大學にても其の始め或る科によりては部長に輕易なる質問を受くる場合も有之候へ共彼れが如く嚴重なる事はふきに察せられ候「君は外國語は何が出来るか」「之れを讀んで見給へ」さて英語や獨逸語の二三書籍を讀ませる場合も有之候由或ひは又「梅毒の處方を羅句で書いて見給へ」など試みられたる人も有之候由されど一般に平易簡單なる事に候べし。話しは多岐に渡り候へ共序でに懇懇可申候實際的技術と外國語殊に獨逸讀書力とは或ひは何處へ迄と云ふ程の親密なる關係あるや否やは淺薄の見聞容易に斷ずべからざる處に候へ共此の試問の如く恐らくは又多くの社會には獨逸が讀めるや否やと云ふ事が試問の一要素に應用せらるゝ場合は決して少からざるに感ぜられ候勿論醫者の目的に非ざるべしされど目的に迄の階路として應用せらるゝは毎度諸兄も御承知の管顧末を誤るは固より總ての事に對して本領にあらざるべければ此の邊の考の下に採否如何は充分に御自治せらるゝ諸兄の御自斷に任せ可申候汗手充棟も只からざる幾億の書籍に一々應接するが如きは到底膨脹絶倒せずんばならず猶亦通常能力の士にありては却つて多岐粗雑に渡りて纏まりたる堅實的基礎を作り得ざるや甚大也此の故に在學中に寧ろ一般的堅實なる基礎を作るに適する書を推奨するが至當に候かと存候此目的に用ひらるゝ此校生徒間に流行する書はグレンヘル氏の診斷書 *Diagnostik-ther-*

apentisches · Valerianum 云にて候三四年生徒は臨床上必ず此二冊を懐中する事諸君の一部に臨床醫典を用ふるが如く然かり恐らくは此二冊は廉價輕便にして極めて簡單明瞭と云ふが爲めに可然。

若し其れ各科特有の深遠なる又は簡單明瞭なる参考書乃至臨床寶典の如きに至りては予知る所ふし各先輩の諸士に糺して誤りなきに加わさるべからざるべければ予等が寡聞竝に之れを述べ候

三井病院にも講習隨時開かるされど茲へは醫員として採用せられ候資格は諸兄及び僕等には無之候科外講習は好んで之れに投ずる程の異彩も無之ものに候べし新 故に然るか或ひは院の性質上に然かるか兎も角後進の爲めには赤十字病院よりは總てに就て推奨の價値少なきと存せられ候私立橋田病院には曾田、磯貝君あり夏期には傳染病患者甚だ多しと聞く其の他一般内科を收容す外來は甚だ多きに非ざれ共病床三十有餘傳染病患者を收容の設備あるは特兆に候べし

濱田産科婦人科病院には渡邊小鷹兩君ありゲブルトフアールの多きは特兆に候べし秋季三ヶ月間濱田先生の院内講習あり時には手術實習の便をも與へらるゝやに候順天堂病院に又外科泌尿器科に講習及び手術傍觀の制度あり但し此れに就いては聞く所少ふれば何れも又後日を待つて可申上候。一般に市内處々に獨逸講習あり志ある人の爲めには何時にても習得せらる夜學を以つて授くるあり晝の間に授くるあり各自の都合によりて其の撰ぶ所を定めらるべし曉星中學内又佛語夜學部あるやに聞く猶亦日本醫學校中央醫學會等二三の所にては夜間隨時内外科臨床講義(其の他の科にもあり)開かれ又基礎醫學の講習も開かる心だにあらば修得上便利を受くる事多し心ありて資金之れ伴はず云ふ士の爲めには夜間診察所と云ふ様所もあるは調法にて候此の点少しく皮肉に申せば専門學校出身者は此種の處に間ふては夜間二時間位出診して月収十圓乃至二十圓位と相場定まるやに聞及び候兎に角只資金許さずと云ふ簡單なる事情の爲めに拘束せらるゝ人は此

(通信)

の種の處を見出して下宿料を拂ふの資を得る事は決して難事に非ず候或ひは亦或る病院に起臥して院務を助けつゝ大學介補などに通勤するの士も少からず候斯る点より申せば雄志負筈に便利調法ある所に候

見聞の梗概は斯くの如くに候此れを要するに田京遊學と云ふ事は各自々に就いて異り名々の自觀によりて是さもあり非さもある諸兄は今や已に充分の自治能力のある士總ての判断は充分に各自の胸中に描かれ得べき事に候べければ事々敷他より容喙を許さず此の書は前に述べたる如く只一の實習的記録として呈する迄に候へば採るべき方針の是非は乞ふ見る人の明に任せん哉來たらむとする人は來たれ問はんとする人は問ひ給へ留まらんとする人は留れ來るも拒まず去るも追はず只だ兄等が自治に任せむ哉筆を終れば且A章下割り集まる半千の士髮髯前にあり秋高ければ神澄の氣自から崇し馬も肥ゆるの節五体自ら健也幸に心身堅實ふれ徒然の思出に愚筆一指斯くの如くに候草々

秋後本郷寓舎ニテ 呆 蛙 生

●林篤氏歐行通信 (佐々木教授宛)

敦賀より(九月二十五日午後六時)

只今學兄林篤君の無事渡歐の途に就かれたるを見て生等一同萬腔の熱誠を以て萬歳を叫び申候。(中村、齋藤生)
林篤先生の渡歐を見送り敦賀灣頭に惜しき秋を分つ、君を乗せたる露國義勇艦隊シンピルスク號は一沫の黒煙を残して北に走る。人の心と心! (近藤生)

浦塩より(露曆九月十四日)

拜啓此の船(露國義勇艦隊シンピルスク號)に乗船仕只今當地に着致候、出發の節御見送り被下奉高謝候、本日午後發車の管に御座候、醫局各位に

宜ろしく奉願上候(明治四十四年九月二十七日)

バイカル湖畔より(露曆九月十七日)

拜啓昨日ハルビンに到着致し只今バイカル湖畔を通過中に御座候、寒氣追々増加し今朝華氏三十二度。霜降り居候、湖邊の山頂には己に白雪有之候今日午後一時半第一回目の乗換に御座候、時節柄御自重相成度、乍憚輿様に宜ろしく奉願上候

伯林より其一(十月八日)

拜啓御機嫌御變りも無之候哉御伺上候、御蔭にて至つて健康にて「モスコ」も見物仕候、「モスコ」市は中々立派に御座候へ共此の如き寺院のみにて只屋上金光燦爛たる十字架を見る計り、然し御聞及の如く此處には有名なる「クレンムリン」宮殿あり、露帝代々の戴冠式舉行せらるゝ處にて内部は華美を極め居候、市街は歐洲化致居候、物價は中々高く閉口仕候

伯林より其二(十月八日)

其後「モスコ」を出發致し再び「ワルソウ」停車場にて列車乗換へ本日午前六時十五分着伯任候間御安神被下度候、着後早速見物仕り本日は「ウンテルテンリンデン」より「チーヤカルテン」を経て動物園内を見物仕候處何れも立派あるには一驚又一驚仕候、何れ兩三日中には當地出發仕度も存候、矢張日本よりは稍寒く感じ候、乍憚輿様に宜ろしく申上被下度候、尙時節柄御自重被下度願上候(伯林松下旅館にて)

ストラスブルグより(十月十四日)

拜啓昨日當地へ參り候間御了知被下度候、兼て先生より御聞き仕居候通り伯林滞在中は太陽を見る事能はず毎日誠に陰氣にて且つ五斯の爲めか何ぞかく憂息するが如く頭重を覺わ不快ふりに伯林を出發し「フランクフルト」へ參り候處快晴日光を拜し爾來當地も好天氣にて爽快に御座候、氣候も伯林よりは余程暖かに御座候、本日は此公園を散歩仕候處外套の必要なく流れば候、Frau Selleに先生の事話し仕候處先生へ宜ろしくと申居候、

暫く毎日外出致し其内に大學へ參り度と存じ候、折角御自重被下度、御輿様へ宜ろしく願上候、當分は此家に下宿仕候敬具

Prof. Dr. A. Hayaschi

bei Frau Selle

Paul Laband Staden 6,

Strassburg i. E.

Deutschland.

辻本辰之助氏通信 (松原教授宛)(三十三年卒業)

拜啓貴下益々御清康と奉推上候陳は在國中は種々御厚情に預り奉深謝候去十月三日佛國マルセーユに上陸仕り直ちに伯林に直行致し大使館に至りて畑參事官を訪問したるに當地ゲツチンゲン大學長兼眼科長リベル氏は非常なる日本好きにて其他の博士亦た左様ある趣を承はり候故先づ當地に旅を解き申候來十六日始業の由に候御承知と存じ候へ共當大學は當市の中央に位置し眞箇の大學町と見做され候當地に於ける醫學研究の日本人は小生を加へて目下五名に御座候

當地ゲツチンゲン銀行及び他に一箇の銀行が破産の運命に逢ひ候其爲め當地留學生三名にて合計金三千五百馬克斗り不拂の災難に逢ひ目下一同途方に暮れ居候小生も今一日當地に來ること早かりしあらんか或は同様に此の難に逢ひたるも知れざるこそ、存候宛に角學費の全滅は異國にありては生命を斷たれたるも同様にて全氏等は誠に氣の毒ふ事に存ぜられ申候當地方は既に可なり寒冷にして爲めに「ストロープ」を使用仕居候當地に來りて偶然に金澤に將來行かるゝ右坂教授に出逢申候。尙ほ萬事落ち付申さず候故諸方へは御無沙汰可任候間諸先生及知人各位へ何卒宜敷御輿聲下され度願上候。小生の宿所左の通りに御座候頓首

十月十一日

佛乙國ゲツチンゲン市にて

辻本辰之助

Dr. T. Tsujimoto

bei Fraunlein Lippert

Kirschweg No. 6.

Göttingen, Deutschland.

●韓清泉氏通信 (松原教授宛十一月十四日着)

全氏は四十一年に本校醫學部を卒業して後ち外科第二部にあり宮田教授の下に専心外科を研究し昨年夏湯爾和氏と共に郷里浙江省に歸國し杭州病院長及び浙江醫學校長として令聞あり此夏再び日本に來り我母校を訪はれ八月金城樓に於て歡迎會の催ありたることは既に本誌に記載せしが全氏等が歸國後清國には革命騒あり。吾人は全氏の安否を氣遣ふこと多大かりしに今氏の消息に接し全氏等が益々健康に活動せられつゝあることを知つて欣悅の情に堪へず。

拜啓久しく御無音に打過ぎ申譯無之候扱て御承知の如く湖北革命軍の舉事以來影響各省に及ぶ間も亦く弊省にも二週前より頻りに旗を擧げよゝこ聞へり遂に一昨々日の夜に突然起事、幸に小戦闘にて成功仕り候當地は昨日にて秩序全く恢復せり巡撫政治を推職して全く滿洲政府より離れて獨立のこと、相成本省は目下暫時浙軍政府の管轄に歸し何つれ各省の軍政府と聯合して一の共和國を組織する積にて御座候(因之目下革命軍の占有する地は既に全國中三分の二を有し近日中北京及南京城を攻撃すると聞ゆ)起事の當時は匆々の中弊病院臨時救護團を組織し負傷者の救護に盡力し幸に小戦争にて濟む故負傷者はいたつて少、目下入院治療をして居る者は十數名に過ぎず候(全部貫通銃創)市内は一般に平靜、新旗を掛けて新氣象を

(校内雜報)

呈し居候誠に可視之事と存し候多忙の時亂筆草し無事を報して聊か以釋諸先生之懸念也 早々頓首

陰曆九月十七日

門人 韓清泉 湯爾和

松原先生 賜鑒

醫局諸兄一同御宜しく

諸先生にも何卒御宜しく御傳言被下度願上候

* * * * *

校内雜報

●解剖大祭

「大法主殿御下向」といふ札を見て門をくゞると、別院の本堂からんきしてゐる。上には屋根普請の最中である。靴さ、一もりとを椽側置いて、庫裏の方へ行く。うす暗い中に黒い頭が夥しく並んでるので、さては遅れたか、と氣付き、小さくかつて後の方へ廻る。狂言が始まつてゐる。顔を見るだ。日蓮宗と眞宗の坊主らしいのか何だか御經を讀み合つてゐる。顔を見るさ、まるで「ブラス」だ。連れの顔も若い。明日あたり、外來にでも來うな患者のやうに思はれてからぬ。やめてうれが、パチ／＼拍手の音に終ると、皆が本堂の方へ操り込む。遺族の方を中にして坐つた。「ありや何だい」、「坊主かい」、「……………」、「坊士にしちや何だか、かしいさ思つた」、雅

樂が始まる。妙な風をした俗人が出て来て、ソプラノをもつた笛を鳴らし、
誦經しつつ、佛堂の周圍をぐるぐると廻つた。それが終へて校長が祭辭を
讀みにゐる。

祭 辭

明治二十一年以來吾校ニ於テ學術研究ノ爲メ解剖ニ供シタル遺體其數一
千有餘ニ及ヒタルヲ以テ特ニ二年祀ノ規模ヲ擴張シ茲ニ大法會ヲ營ミ賓客
ヲ請シ有緣ノ士ヲ招キ予自ラ施主トナリテ職員生徒相會シ以テ其靈ヲ慰
メントス夫レ近世學問ノ進歩ハ實驗的研究ニ基ク醫學ノ進歩ノ人體ノ實
驗的研究ニ負フ所アルハ復々論ヲ俟タサルナリ死生ハ人生ノ大事祭葬ハ
風俗ノ要項ナレハ死屍ヲ解剖ニ委スルカ如キハ稍人情ノ忍ヒサル所ナリ
ト雖モ若シコノ忍ヒサルヲ忍ブノ人アラソバ醫學ノ進歩如何ニシテカ
期スベキ今ヤ北陸ニ大學ノ設立セラル、亦近キニアリト聞ク幸ニ醫科大
學ヲ置カル、ノ機アラハ解體志望者ノ増加ヲ要スルコト今ヨリ一層切實
ナルモノアルヘシ他日其期アラバ今日祀ラル、所ノ諸靈其先容ヲナシタ
ルノ功掩フベカラサルナリ然リ而シテ醫術ノ歸趣ハ濟生ニアリ濟生ノ功
ハ風俗ノ醇厚ヲ致スヘシ然ラハ醫學研究ノ爲メニ其遺屍ヲ解剖ニ委スル
忍ブハ亦是レ延イテ風俗ニ資スル所以ナリト云フコトヲ得ヘシ其ハ冤モ
アレ諸靈方能ク因循ナル人情ヲ蕩テ決然トシテ其遺體ヲ吾校ニ寄セラレ
タルノ功ト恩トハ茲ニ深ク之ヲ感謝スル所ナリ嗚呼世ニハ生キテ而シテ
寸功ナキモノアリ死シテ尙善根ヲ植エタル諸靈ノ如キハ夫レ所謂善知識
カ蓋シ菩提果ヲ得ン今供養スル所ノモノモ甚薄シト雖モ諸靈庶幾クハ之ヲ
享ケヨ

明治四十四年十月十四日

金澤醫學專門學校校長醫學博士 高安 右人

次で生徒總代が

祭 詞

維、明治四十四年十月十四日、我金澤醫學專門學校、庶官諸生皆與罷業
半日、茲恭修大法會於眞宗本派本願寺別院、以祀下從明治廿一年四
月一至現今廿四年間係ニ解剖遺體ニ士女一千九十五人之靈靈上、乃一院
大衆具盡ニ莊嚴ニ施シ廻向、賓客並有緣士女、應レ招參ニ供養ニ無慮幾百
人、噫斯盛典曠儀、豈當止ニ一時之觀、足ニ永以爲ニ本校之誇ニ矣、生等徐
惟、比緝ニ本邦醫史、偶見於三德川氏中世、醫官山脇東洋軍ニ思干ニ實
驗、乞時有司一、就ニ刑死者遺骸ニ試ニ剖檢、實爲ニ空前未見、然當世
醫、却翕然非難ニ東洋斯舉ニ日、醫仁術也、雖ニ刑囚屍一層而觀レ焉不仁之極
也、物議嘈然知ニ鼎沸ニ矣、蓋當時人文未レ開、偏見癡癡世態可ニ觀見、雖
然照ニ之社會趨勢考、懸下所謂人情無ニ古今一諺上、今尙可ニ窺知ニ斯間機
微ニ矣、夫人之於ニ生涯一、思察行動固不ニ一律、賢不肖所レ岐懸隔同レ日
不レ可レ語、而通ニ二者一竟不レ免ニ歸趣一、只夫愛重ニ肉體一情操乎哉、
以レ故人情攸レ重、雖ニ死後ニ尙繼承レ之、對ニ其遺骸一圖ニ保全一、寔古來有
文民族常習而、概爲ニ東西風教所ニ一致、然今於ニ醫學研鑄一、至レ如レ行
四肢五體解剖、與ニ普通人情所レ尙、如レ不ニ相容一、是雖ニ開明今日、
以ニ通俗眼孔ニ觀レ焉、恐可レ不レ免レ有ニ不仁疑ニ乎、豈夫然哉、苟較量ニ事
理大小輕重、未レ俟ニ識者一而須ニ解決也、抑醫之爲ニ仁術、實不レ失
爲ニ古今通義、從ニ斯仁術一者、固不レ得レ不レ敦ニ于人情一、蓋古今大醫者、
實同情ニ億兆一最深甚者也矣、何者、今日醫科知識技能、遂得ニ確實進步發
達一所由、謂ニ殆係ニ死體剖檢之結果一敢非ニ過言一、其聞ニ組織之幽一明ニ擘
造一撥ニ病竈之玄一第ニ病理一、開拓ニ醫術之基礎一、以致ニ今日之隆一、可レ
謂ニ業緒頗顯著ニ矣、於レ此益進ニ蒼生康福一、奏ニ濟民偉功一、將レ無ニ際
涯一、是偏無レ不レ基因于舍ニ區々小仁一取ニ堂々大仁一卓見上焉、况人
一就ニ永眠一爲ニ不歸客一、遺體亦還ニ物質一、委ニ黃土一不レ能レ免ニ頹壞一、斯
無用廢物而若供ニ醫家剖檢一乎、資ニ驗數ニ生老病死原理一、爲ニ後來蒼生一

厚貽^レ慶、濟生利益何事加^レ焉、於^レ此死者之光榮始可^レ謂^レ全美、唯從事^ニ醫學研鑽^一者、當^ニ三刀下^ニ同胞生前最貴軀體、宣^レ灑^ニ無限同情、轉漑^ニ敬虔念^一、合^レ期下將來成業曉、遍獻^ニ社會^一不^レ上^ニ辜負^ニ死者寄與之洪惠^一耳、願^ニ吾校醫科、既出^ニ卒業生^一一千九百人、現有^ニ在學生徒^一五百六十三人、卒業者立^ニ于世^一貢獻不^レ鮮少、普世人所^ニ目視^一、今此不^レ俟^ニ絮說^一、吾儕現在生徒、亦將^ニ逐次卒業^一業活^ニ勳于社會^一、既往將來齊爲^ニ濟生^一一舉^ニ三事功^一、其一^ニ班不^レ得下^ニ必不^レ、願^ニ中^一于甘而爲^ニ研究材料^一解剖臺上之死體^上、是吾校風德^ニ三係^ニ于遺骸^一諸士女^上、所以^ニ三年々^一厚弔^ニ精靈^一修^ニ追福^一也、蓋諸靈以可^レ足^レ區矣、生等今此^ニ參大法會^一肅捧^ニ滿腔至誠^一、對^ニ諸靈^一表^ニ感謝意^一、聊薦^ニ蕪辭^一換^ニ麻羞^一、諸靈莫^レ辜^レ焉、

官立金澤醫學專門學校卒業生總代 雨 森 良 順 敬白

燒香か終るこ、金子先生、演壇に立たれて北陸關西に於ける解剖學の歴史を述べ、は我が校の解剖統計に就て精細ふる表を示された。(次項参照)。先生は北陸醫學解剖學のフアーターである。今後ますます基礎醫學の必要を見る際、先生の如きパイオニアを有してゐる吾等は奮つて世界の趨勢に後れてはならぬ。別院では當番の守重氏が次で立たれて、一場のお話しあつたソクラテスの語なども引いて面白く話されたが、そのうち、親鸞上人が失くふられる際、自分の屍は加茂川の魚に與へよと言はれたといふ事、——前にも聞いた事はあるが、——それか「功德」といふ字を結び付けられたから自分は考へさせられた。私は一つの知識を得た事をこゝに感謝する。後で誰だか、「頭がある」と言つた。そうだらふ。古新聞と古雜誌と、そして一世紀も後れた古本とが幅のきく金澤の地であるもの。これ等がその「頭のある」部へ屬すべきものであらふ。私等は、少くして遺族の方も、それからまた庫裏の方へ引返した。狂言がまた始まる。今度自分仕事や脇が外來患者のやうに見えなくて面白かつた。夕開はいちばやく漲つて、遺族の方々に出したけう飯の座を混雜させて見せた。終へたのが五時。屋

根普請はやつぱりやつてゐる。(J.F.)

▲本校解剖死體統計

年次	解剖體	卒業生
二十二年より二十七年に至りるまで	一一〇	一四九
二十八年	二一	一五
二十九年	四五	二〇
三十年	二九	三〇
三十一年	三二	三六
三十二年	七一	一八
三十三年	三六	二九
三十四年	二七	二八
三十五年	七〇	五〇
三十六年	六九	四一
三十七年	六九	七一
三十八年	七四	九五
三十九年	七四	九五
四十年	七九	一〇九
四十一年	六四	九七
四十二年	八三	一〇四
四十三年	六九	九九
四十四年九月まで	六三	
總計	一〇九五	

以上は記録に載つてゐるもの丈である、今明治三十一年から四十年に至る十年間の統計を取つて見るこゝ、解剖體總數が六百一個、その中、解剖専用ものが百三十七個、病理解剖専用ものが百四十、解剖、病理兩教室併用のもの三百二十四個である、尙生徒の解剖實習用に使つたものが其中二

百二十四個で、その十年間の卒業生數五百七十六人に割當て、見るま一人〇、三八強(7/18)にある、決して多いとは言へぬのである、其土地の醫學の進歩如何は、學校病院中に在る標本數の多寡に依つても知るこゝが出来、我々は村上教授の下に豊富なる標本を有して誇るに足るが、今後更に解剖體の需要増加を豫測して、吾人は切に世の篤志家に待たんと欲するものである。

●小立野俱樂部成る

時は之れ秋也秋は覺醒の時ならずや眞面目に歸へる時ならずや野分一陣吹來る木の葉の時雨滿野の白露に映する星影人の深省を促がして止まず春草の紗夏木の衣名殘ふく脱ぎ捨てられ葛蘿の筋樹幹の骨赤裸々にして人に虚榮の誇を擲たしむ、半宵秋の聲を聞けば烟を切て將に遊子をして起たしむるものあり。

想起す我等一度我校門を入りて以來既に數星霜徒らに筆記に捕はれ試験の奴隸さかり日夜營々として學問の上滑べりを事として内顧れば徳操の精神全く地に墮ち舉つて世の個人主義の渦中に捲き込まれ轉じて現世享樂主義さより人生の眞面目を觀せずかくして一度人生行路の難關に相遇すれば五体を地に投じ天の無情を怨み現代を諷ひ憤懣煩悶して未だ曾て自心の内觀に立ち至りしこゝより過去の道程を顧れば幹枯せる砂漠に喘ぐ駱駝の糞に似たり今や秋の至るに會し吾人は「オ、シス」の面前に横ばるを認めぬ「オ、シス」とは何ぞ我小立野俱樂部之かり小立野俱樂部は吾等醫三醫四の有志が志想を練磨し道義を修養する道場也清興談笑友情自から温まる娛樂場也鮮苦滑かある巖裂を迸り來る清泉回らずに絨芝の軟かきを以てす以て憩ふべく以て渴を慰するに足る今や初めて歡喜あり勇氣ありかくして吾人と行路を共にする者と相携へて際涯なき學界難關多き人生を踏破せんか秋の

力は吾人に此賜有りしを喜ぶ

第一回小立野俱樂部例會

白雨蕭々たる十月八日午後一時金澤病院內婦人科教室に開會來會者十四人數に於て少なりと雖も鳥合の衆に勝るこゝ萬々出演者左の如し

- 一、開會の辭
 - 一、獨逸語類辭解釋
 - 一、淺川氏窒扶斯診斷液使用法に就いて
 - 一、尙優病調査地に於ける見聞
 - 以上その他會費開會時日出演番組等を決議したり尙次回は十月廿二日午後婦人科教室に於て開會出演者醫四、白木孝一、高橋邦次郎醫三、篠岡良作、宮竹介次の四名の答ふり(邦)
- 醫四 高橋邦次郎
 - 醫三 石坂正義
 - 醫四 雨森良順
 - 醫四 高橋邦次郎

●新特別會員を迎ふ

籬の菊眞盛りにして、秋氣天に滿ちて清く、人心自ら哲味を覺ゆ、此時茲に新たに百に足る特別會員を得し我十全會は、秋の實りを告げて、穀倉豊かに大平の賑ひを感するが如く、まして得難きの人材を迎へて歡びや能くものし難きものあり、回顧すれば四年の昔、笈を負て故郷を辭し母校に學びし折、兄弟の感や如何、功成り業終へて錦衣を飾るの得意や如何、想ふて此所に至れば感慨無量歡喜雀躍の情禁する能はざるあり、我會は兄弟を得て益々隆盛に赴くべく、兄弟の成功によつて花を副ふべし、望むらくは諸士奮勉努力大に斯界の重鎮たるを期せらるゝと同時に、母校を忘るゝかく、十全會を忘るゝ事なく、小さく大さく、陰に陽に連絡を取られ、數多き先輩と、限りなき會員と親み給はむ事を特に記して歡迎の辭に代ふ

金澤醫學專門學校に於て同四日醫學科卒業生百二人、藥學科卒業生十九人に卒業證書を授與せり其族籍、氏名(×印は優等生にして賞品銀時計

(校内雜報)

廣島縣平民

渡邊常三郎

山形縣平民

佐藤祐造

▲藥學科

島根縣平民

佐々木武雄

香川縣平民

今澤義三郎

長野縣平民

山岸勘吉

石川縣平民

野澤榮吉

愛知縣平民

鈴木嘉一郎

靜岡縣平民

平野麻太郎

岐阜縣平民

説田義隆

石川縣士族

松井正倫

新潟縣平民

大橋太一郎

石川縣平民

松井啓

岡山縣平民

安藤千秋

石川縣士族

吉澤榮三

石川縣士族

安達銷吉

石川縣平民

山田甚太郎

石川縣平民

松田卷耳

石川縣平民

大田乙松

石川縣平民

館昌次

新潟縣平民

林清一

德島縣平民

安宅清三郎

●卒業式記事

我校は新に醫學科卒業生百二名藥學科卒業生十九名を出せしを以て其が卒業証書授與式を去る十一月四日午後一時より濟々堂に於て舉行一々卒業証書を授與し終りて高安校長は一場の訓話をふし午後二時半式を終ふ當日は晴れの式日さて校門の日章旗は校庭の綠松に影じて誇り顔に醜き出づる者入る者笑顔からざるはなく証書を握りて未來を談ずるもの、同じき樂みも一日も早かれと希ふ學生諸士、果ては別れを序するもの歡送の意を漏らす人、盡せぬ樂しみは尙ほも續きて十全會大茶話會の幕にぞ移り行きぬ。

●十全會大茶話會記事

花は堂を飾り、万艦飾は人波によれて嚴めしの濟々堂も今日を限りと化粧

閑

せし儼姿、出で、社會に嫁する特別會員を送り入りて母校の礎とある新入學生を迎ひて如何に満足ありしや、見よ會長はじめ各部長職員は顔は輝きに満ちて樂しく、特別會員は温き舊家を訪れて同胞の喜びを共にせり、當日の茶話會委員長代理阿部教授福々しげなる身を起して會の幕を開き、に笑ひの種は餘興によりて、芽を出しぬ若燕、伯知の講談は能く會員の胸を刺して心の糸に共鳴を與へ師も弟子も兄も弟も樂しの情は一つあり、茶も出で菓子も運ばれて亦一時秋の日の暮れ易きを嘆つや切あり、午後六時頃阿部教授閉會の辭を述べ高安會長の發聲につれて十全會萬歳を三唱して西と東に分れ行く會員の影もいそぐし、不知、新特別會員の今宵の夢や如何あらむ、門を出づれば月雲の端を出で、清し。

●深見貞之助氏送別會記

外科二部に其人ありと知られたる深見氏今回高岡の大澤河合二氏の經營さる、河合病院に外科主任とふりて赴任さる、事さふりたれば病院職員一同及市内開業醫の有志相謀りて十一月五日金城樓に送別の酒宴を開いた、定刻迄に會するもの七十有餘名如何に氏の德望高きを知るに足る、各席定まるや宮田教授徐に立ちて開會の辭を述べられ次きて氏が學校卒業後陸軍部内に學校内に解剖學講師として又病院内に患者治療の方面に又赤十字社、石川縣、両看護婦養生事業に少ふからず勞を措まれさりし事を謝し尙今後同氏の發展と成功を祈り送別の辭とされたり。深見氏は座を立ちて單簡に答詞を述べらる、之れから宴にうつる下座から上座の方を見るに教授側では下平、鬼頭、松原三教授學校側から村上、上田、石川教授出席せられたり、散會せしは午後十時ふり。

叙任及辭令

●金澤醫學專門學校

十月三十一日

關戸辰次郎

依願雇ヲ解ク

十一月六日

安藤千秋

雇申付(月俸拾六圓)

藥學科副手ヲ命ス

●石川縣

十月二十六日

依願職務ヲ免ス

全上

全上

五級俸給與

森 桑次郎
森 善次
深見貞之助

* * * * *

入 事

●高柳元六郎氏 (全氏二十四年卒業)は以前臺灣にありしが其後ら大阪市内に開業せられたりしも此度再び臺灣基隆に趣きて『私立高柳醫院』を開業せられたり。

●鈴木寛之助氏 全氏二十九年卒業。海軍々醫中監は先きに撰拔せられて軍艦鞍馬に軍醫長として渡英して英皇戴冠式に臨み尙ほ其途次佛國及獨國をも見學せられ其間屢々詳細なる紀行文を本誌に寄稿せられしが去十一月十二日無事横須賀に歸國せられたり。

●坂井茂氏 (三十九年度卒業)東京帝國大學病院口腔外科及齒科に研究の所今回富山市旅籠町に於て口腔外科齒科専門を以て本月十五日より開業せらる同氏の科は他に類例少ふる専門科ふれば必ずや成功せらるゝ事ふるべし。

●相馬甲五郎氏 (四十二年度卒業)七尾警察醫を辭し東上淺草吉原病院に勤務さる。

●中本和三郎氏 (同年度卒業)眼科醫員たりし氏は七尾病院に赴任中ふりしが今回職を辭し内科一部に研究され近々開業の準備中。

●上野善造氏 (四十二年度卒業)婦人科醫員ふる氏は鹿島郡南大谷村熊淵の赤痢治療に本月初旬出張。

●吉川六郎氏 (四十二年) ●齋藤友一氏 (四十三年) ●馬場正次氏 (四十三年) 三氏共に能登赤痢に出張昨月下旬歸院さる。

●高田信弘氏 (四十三年卒)能登船倉島脚氣調査員として石川縣より出張されし氏は昨月下旬歸院さる。

(會告)

會 告

● 四十三年度十全會費收支決算報告

四十三年度金澤醫學專門學校十全會費別紙ノ通り決算ヲ遂ケ候結果收入増金四拾八圓拾錢支出殘金四拾貳圓四拾七錢合計金九拾圓五拾七錢ヲ剩餘ス而シテ該金額ハ會則第十六條ニヨリ資金ヘ組入スヘキモノナリ
現在資金ハ公債証書額面千貳百圓並ニ金參百參拾七圓拾五錢九厘ニシテ内譯左ノ如シ

帝國五分利公債証書額面八百圓也 前年度ヨリ繰越
帝國四分利公債証書額面四百圓也 本年度買入
金百五拾圓也 國庫債券百五拾圓償還受
金百八拾七圓拾五錢九厘 前年度ヨリ繰越
尙外ニ「ピア」購入基金九拾參圓六拾四錢貳厘アリ依テ繰越現金四百參拾圓八拾錢壹厘ナリ
右報告候也

● 明治四十三年度金澤醫學專門學校
十全會費收入決算表

科 目	豫算額	收入濟額	豫算額ニ比シ 收入濟額差	備考
第一款 金澤醫學專門學校十全會特別會員寄附金	一、四七、〇〇〇	一、四五、〇〇〇	〇六、一〇〇	
第一項 金	一三、〇〇〇	一三、八〇〇	一、五〇〇	

● 明治四十三年度金澤醫學專門學校
十全會費支出決算表

科 目	原豫算額	流用増減額 *印ハ減	豫算現額	支出濟額	不用額
第一目 職員寄附金	一三、〇〇〇		一三、〇〇〇	一三、〇〇〇	
第二項 通常會員會費	一、〇〇〇		一、〇〇〇	一、〇〇〇	
第一目 醫學生會費	八四〇、〇〇〇		八四〇、〇〇〇	一〇、〇〇〇	
第二目 藥學生會費	一三、〇〇〇		一四、九〇〇	一三、〇〇〇	
第三項 入會金	一〇〇、〇〇〇		一三、〇〇〇	七、〇〇〇	
第一目 入會金	一〇〇、〇〇〇		一三、〇〇〇	七、〇〇〇	
第四項 利金	六〇、〇〇〇		九、一五七	三、一五七	
第一目 預金利子	六〇、〇〇〇		九、一五七	三、一五七	
第五項 繰越金	五〇、〇〇〇		五〇、〇〇〇		
第一目 繰越金	五〇、〇〇〇		五〇、〇〇〇		
合計	一、四七、〇〇〇		一、四五、〇〇〇	〇六、一〇〇	

科 目	原豫算額	流用増減額 *印ハ減	豫算現額	支出濟額	不用額
經常部					
第一款 金澤醫學專門學校十全會	一、三七、〇〇〇		一、三七、〇〇〇	一、三四、八〇〇	二、二〇〇
第一項 春季陸上運動會	一〇〇、〇〇〇		一〇〇、〇〇〇	一〇〇、〇〇〇	
第一目 春季陸上運動會	一〇〇、〇〇〇		一〇〇、〇〇〇	一〇〇、〇〇〇	
第二項 講話部	四〇、〇〇〇		四〇、〇〇〇	四〇、〇〇〇	
第一目 大會費	三六、〇〇〇	* 〇、一〇〇	三六、〇〇〇	三六、〇〇〇	

第十全會雜誌第十七號

第二目 通常會費	二〇〇〇	〇・一〇〇	二・一〇〇	二・一〇〇	〇・〇〇〇
第三項 雜誌部	四〇〇・〇〇〇	—	四八〇・〇〇〇	四八〇・〇〇〇	—
第一目 雜誌費	四六・四〇〇	一三・六〇〇	四〇〇・〇〇〇	四〇〇・〇〇〇	—
第二目 通信費	一五六・〇〇〇	五・七〇〇	九・九〇〇	九・九〇〇	—
第三目 消耗品費	七〇〇〇	〇・七〇〇	七・七〇〇	七・七〇〇	—
第四目 製本費	一〇〇・〇〇〇	七・六〇〇	二・四〇〇	二・四〇〇	—
第五目 雜費	一〇〇〇	一・〇〇〇	—	—	—
第四項 部費	七五・〇〇〇	—	七五・〇〇〇	七五・〇〇〇	—
第一目 部費	六〇・〇〇〇	五・四〇〇	六五・四〇〇	六五・四〇〇	—
第二目 大會費	一五・〇〇〇	五・四七〇	九・五三〇	九・五三〇	—
第五項 劍道部	六五・〇〇〇	六・八七〇	七・八七〇	七・八七〇	—
第一目 大會費	三〇・〇〇〇	八・八七〇	三六・八七〇	三六・八七〇	—
第二目 獎勵費	三五・〇〇〇	二・〇〇〇	三三・〇〇〇	三三・〇〇〇	—
第六項 柔道部	六七・〇〇〇	〇・八二〇	六七・八二〇	六七・八二〇	—
第一目 大會費	三三・〇〇〇	一・四二〇	三〇・五八〇	三〇・五八〇	—
第二目 獎勵費	三三・〇〇〇	二・二四〇	三七・二四〇	三七・二四〇	—
第七項 弓術部	六〇・〇〇〇	—	六〇・〇〇〇	六〇・〇〇〇	〇・〇〇〇
第一目 大會費	一五・〇〇〇	三・七〇〇	一八・七〇〇	一八・七〇〇	—
第二目 備品費	一〇・〇〇〇	—	一〇・〇〇〇	一〇・〇〇〇	—
第三目 南山修繕費	五・〇〇〇	—	五・〇〇〇	五・〇〇〇	—
第四目 獎勵費	二〇・〇〇〇	—	二〇・〇〇〇	二〇・〇〇〇	—

第八項 野球部	一〇・〇〇〇	—	一〇・〇〇〇	一〇・〇〇〇	—
第一目 野球部費	九・〇〇〇	* 三・四・三五〇	六〇・六五〇	五五・三五〇	四・三〇〇
第二目 大會費	一五・〇〇〇	三・四・三五〇	四九・三五〇	四九・三五〇	—
第九項 會務費	二八・五〇〇	二・七九〇	三三・二九〇	三三・二九〇	〇・〇〇〇
第一目 教師囑託手當	一四・〇〇〇	〇・三〇〇	一四・三〇〇	一四・三〇〇	—
第二目 備品費	三・〇〇〇	* 四・四九〇	一七・五五〇	一七・五五〇	〇・〇〇〇
第三目 印刷費	〇・五〇〇	* 〇・五〇〇	—	—	—
第四目 消耗品費	五・〇〇〇	七・六五〇	一二・六五〇	一二・六五〇	—
第五目 雜費	七・〇〇〇	* 三・〇〇〇	四・〇〇〇	四・〇〇〇	—
第六目 茶話會費	五〇・〇〇〇	二・七八〇	五二・七八〇	五二・七八〇	—
第十項 學術實習部	八五・四〇〇	—	八五・四〇〇	八五・四〇〇	〇・三〇〇
第一目 藥品材料費	五五・四〇〇	一三・五九〇	六八・九九〇	六八・九九〇	—
第二目 備品費	三〇・〇〇〇	* 三・五九〇	一六・四一〇	一六・四一〇	〇・三〇〇
第三目 雜費	一〇・〇〇〇	* 一〇・〇〇〇	—	—	—
第七項 豫備費	六五・四〇〇	* 三・〇・九〇	三五・二一〇	三五・二一〇	—
第一目 豫備費	六五・四〇〇	* 三・〇・九〇	三五・二一〇	三五・二一〇	—
第十項 端艇基金	一・〇〇〇	—	一・〇〇〇	一・〇〇〇	—
第一目 端艇基金	一・〇〇〇	—	一・〇〇〇	一・〇〇〇	—
合計	一・三・七・三〇〇	—	一・三・七・三〇〇	一・三・七・三〇〇	—

●明治四十三年度金澤醫學專門學校
十全會臨時費支出決算書

(會告)

(會告)

科目	原豫算額	流用・増減額	豫算現額	支出濟額	不用額
臨時部					
第一款 修繕費	400.000		400.000	400.000	
第一項 費	400.000		400.000	400.000	
合計	400.000		400.000	400.000	

●明治四十三年度金澤醫學專門學校十全會資金部支出決算書

科目	原豫算額	流用・増減額	豫算現額	支出濟額	不用額
第一款 金澤醫學專門學校十全會資金	360.195		360.195	360.000	0.195
第一項 資金	360.195		360.195	360.000	0.195
第一目 公債証書	360.195		360.195	360.000	0.195
合計	360.195		360.195	360.000	0.195

●明治四十三年度十全會校外特別會員會費收支決算報告

四十三年度十全會校外特別會員會費收支決算ノ決果
本年度收入金額ハ

八七六、七八三

ナリ内

自四十四年度會費前納金額
至五十年年度會費前納金額

四一九、六〇〇

ヲ扣除シ殘金

ハ本年度實収金額ナリ

本年度支出濟額ハ

ニシテ收入額ニ比シ

ナ不足ス此ノ缺損ハ會費未納者多キニ因ル故ニ繰越金ヨリ繰替補充逐次翌

年度剩余金ヨリ償還ヲ要ス

現在資金ハ參百八拾四圓七拾九錢ニシテ内譯左ノ如シ

金百參拾四圓七拾九錢

金貳百五拾圓

依テ繰越現金六百拾圓五拾六錢參厘ナリ

右報告候也

四五七、一八二

六五一、〇一〇

一九三、八二七

前年度ヨリ繰越金

第三回國庫債券額面貳百五拾圓償還ニ付受

●明治四十三年度金澤醫學專門學校十全會校外特別會員會費收入決算表

科目	豫算額	收入濟額	豫算額ニ比シ 收入濟額差	備考
第一款 金澤醫學專門學校十全會特別會員會費	1,250.000	866,763	1,782,557	
第一項 校外特別會員會費	962,800	656,400	1,099,400	内貳百五拾六圓四拾錢
第一目 四十三年度會費	432,800	326,200	516,000	ハ本年度以前々納ノモ
第二目 前年度未納會費	250,000	50,000	1,700,000	未納者アリ
第三目 前納會費	300,000	330,100	60,800	シニヨル
第二項 利金	302,200	370,633	1,774,333	預金多キニ

●明治四十三年度金澤醫學專門學校十全會
校外特別會員會費支出決算表

科	目	原豫算額	流用増減 *印ハ減	豫算現額	支出済額	不用額
第一目	預金利息	三〇・四〇		一七・七〇		
	繰越金	一七二・〇〇〇		八・四〇〇		前納會費
	繰越金	一七二・〇〇〇		八・四〇〇		寄附金アリ
	繰越金	一七二・〇〇〇		八・四〇〇		シニヨリ本 項目新設ス
第四項	雜收入		五・〇〇〇	五・〇〇〇		
	雜收入		五・〇〇〇	五・〇〇〇		
合計		一、一五〇・〇〇	八六・七五	一、二三六・七五		

科	目	原豫算額	流用増減 *印ハ減	豫算現額	支出済額	不用額
第一款 金澤醫學專門學校十全會校外特別會員會費 第一項 會費 第一目 雜費	第一目 雜費	六六・〇〇〇		八〇・八〇六二	七六・〇三三	三・〇〇〇〇
	第二目 通信費	六六・〇〇〇	〇・九六	六五・〇三〇	六五・〇一〇	〇・〇〇〇
	第三目 雜費	五四・〇〇〇	*三・二二	五〇・七八〇	五〇・八八〇	
	第二項 豫備費	九〇・〇〇〇	*三・八〇	八六・二〇〇	八六・二〇〇	
	第一目 豫備費	二〇・〇〇〇	*一・七〇	一八・三〇〇	一八・三〇〇	〇・〇〇〇
	第二目 豫備費	三三・〇〇〇	*〇・九六	三二・〇四〇	三二・〇四〇	
	第三目 豫備費	三三・〇〇〇	*〇・九六	三二・〇四〇	三二・〇四〇	
	第三項 維持資金へ組入			二五・〇三三	二五・〇三三	
	第一目 維持資金へ組入			二五・〇三三	二五・〇三三	
	合計		六六・〇〇〇		八〇・八〇六二	七六・〇三三

●自明治四十四年十月十七日外校特別會員會費調書
至全 年十一月十四日

金額	期	氏名
金參圓 全	自四十四年度三ヶ年分	加藤末吉君
金參圓 全	自四十四年度三ヶ年分	國田武雄君
金參圓 全	自四十四年度三ヶ年分	鈴木忍君
金參圓 全	自四十四年度三ヶ年分	米多外男君
金貳圓 全	自四十二年度二ヶ年分	杉原幹男君
金參圓 全	自四十三年度三ヶ年分	小俣幹翁君
金參圓 全	自四十四年度三ヶ年分	豐田今吉郎君
金參圓 全	自四十四年度三ヶ年分	川上操一君
金參圓 全	自四十四年度三ヶ年分	加瀬順之助君
金參圓 全	自四十四年度三ヶ年分	湊保久君
金參圓 全	自四十四年度三ヶ年分	菱川瀧太君
金參圓 全	自四十四年度三ヶ年分	仙波宏造君
金參圓 全	自四十四年度三ヶ年分	谷口明君
金參圓 全	自四十四年度三ヶ年分	滿田光規君
金參圓 全	自四十四年度三ヶ年分	小島隆義君
金參圓 全	自四十四年度三ヶ年分	松田武千代君
金參圓 全	自四十四年度三ヶ年分	石川元良君
金參圓 全	自四十四年度三ヶ年分	勝木千尋君
金參圓 全	自四十四年度三ヶ年分	平泉泰藏君